無線ケーブルモデムゲートウェイ

BCW700J

設定マニュアル

株式会社ブロードネットマックス

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

目次

①はじめに ・・・ 2

②簡単設定
無線基本設定 ・・・ 4
無線暗号化設定 ・・・ 5

③基本設定
IPネットワーク ・・・ 8
DHCP設定 ・・・ 9
DDNS設定 ・・・ 10
バックアップ ・・・ 11
設定初期化 ・・・ 12
ログイン設定 ・・・ 13

④無線LAN設定
802.11無線設定 ・・・ 14
プライマリネットワーク ・・・ 15
セカンダリネットワーク ・・・ 19
無線詳細設定 ・・・ 23
アクセス制限 ・・・ 25

⑤詳細設定
ゲートウェイオプション ・・・ 26
IPアドレスフィルタ ・・・ 27
MACアドレスフィルタ ・・・ 28
ポートフィルタ ・・・ 29
ポートフォワード ・・・ 30
ポートトリガー ・・・ 31
ファイアウォール ・・・ 32

付録
無線LAN対応機器情報 ・・・ 33

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

はじめにお読みください

このたびは、無線ケーブルモデムゲートウェイ「BCW700J」（以下、本製品）をご使用いただきましてありがとうございます。
お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、本製品同梱の「取扱説明書」をもあわせてお読みください。

「取扱説明書」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。
お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

本書について

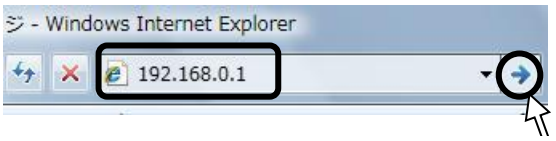
本書は、本製品についてのネットワーク設定をWEB画面に沿って説明しています。
本製品とWEB画面を確認する機器（パソコンなど）とのネットワークがあらかじめ接続されていることを確認してください。接続できない場合は、「取扱説明書」を再度お読みください。

本書は、予告なく変更、修正することがあります。また、ファームウェアのバージョンにより画面が多少異なることがあります。

本書の著作権は、株式会社ブロードネットマックスに帰属しています。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

（1）本製品とパソコンとのネットワークが接続している状態で、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレスバーに「192.168.0.1」（本製品の管理用IPアドレス）と入力し、キーボードのENTERキーまたはWebブラウザのアクセスボタンをクリックします。

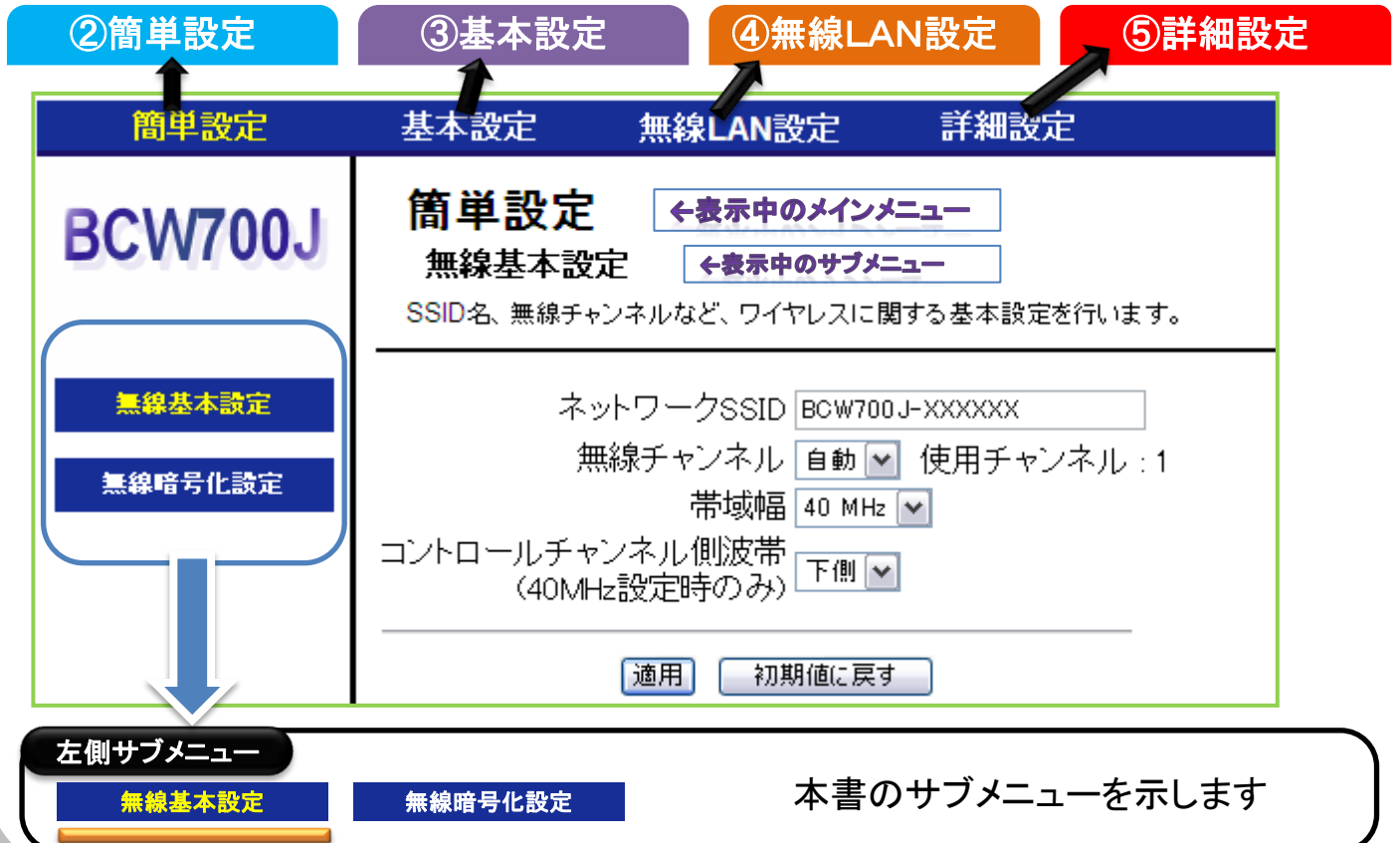


＊お客様で管理用IPアドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。
＊本製品の無線LANのセカンダリネットワークからは本WEBページへのアクセスはできません。

（2）ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、入力後にO.Kボタンをクリックします。本製品のユーザー名とパスワードは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」「パスワード」をご確認ください。

＊お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

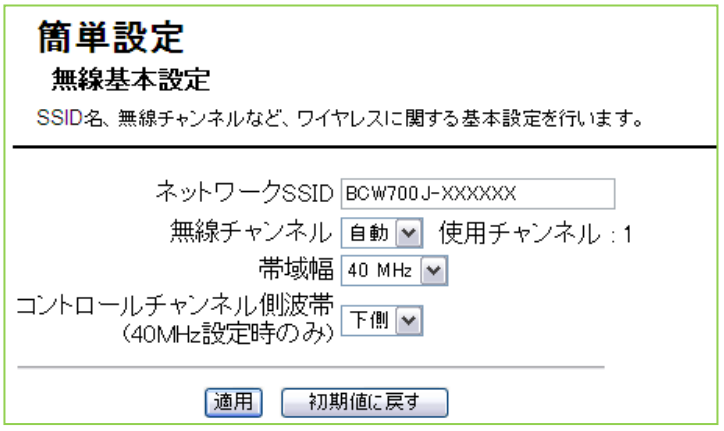
（3）認証に成功しますと、以下のような画面が表示されます。
メニュー毎に各章をお読みください。



Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線基本設定　無線暗号化設定



本設定内容についてはそのままの設定でご使用いただけます。

異なるアクセスポイントが複数表示された場合は電波が込み合っている可能性があります。
電波の干渉により、通信速度の低下や、接続が不安定になることがあります。

使用する無線チャンネルを変更することで、改善される場合があります。

ネットワークSSID BCW700J-XXXXXX

無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。

初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリーSSID」をご確認ください。

◆【無線LAN設定】⇒【プライマリネットワーク設定】⇒［ネットワークSSID］と同じ項目となります。

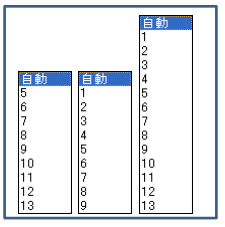
無線チャンネル 自動 使用チャンネル：1

無線LANで使用する電波のチャンネルを指定します。
自動の場合、周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され、
使用チャンネル：Xとして表示されます。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、干渉することがあります。

初期値：自動

◆【無線LAN設定】⇒【802.11無線設定】⇒［無線チャンネル］と同じ項目となります。



帯域幅が20MHzの場合1～13チャンネル。
帯域幅が40MHzの場合、コントロールチャンネルが下側、上側によって1～9又は、5～13チャンネルとなります。

帯域幅 40 MHz → 20 MHz / 40 MHz

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を指定します。802.11 b/gでは20MHzの帯域幅を使用します。
802.11n では20MHzのほか、40MHz を使用することでより高速な通信を実現します。
同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、40MHzを指定していても20MHzとして動作することがあります。

初期値：40MHz

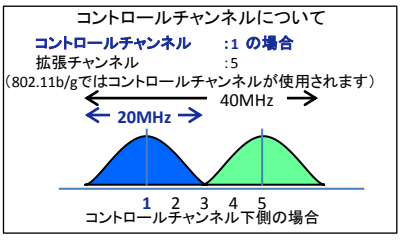
◆【無線LAN設定】⇒【802.11無線設定】⇒［帯域幅］と同じ項目となります。

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ) 下側 → 下側 / 上側

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を40MHzに指定した場合において、隣り合う20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして下側と上側のどちらを使用するか指定します。

初期値：下側

◆【無線LAN設定】⇒【802.11無線設定】⇒［コントロールチャンネル側波帯］と同じ項目となります。



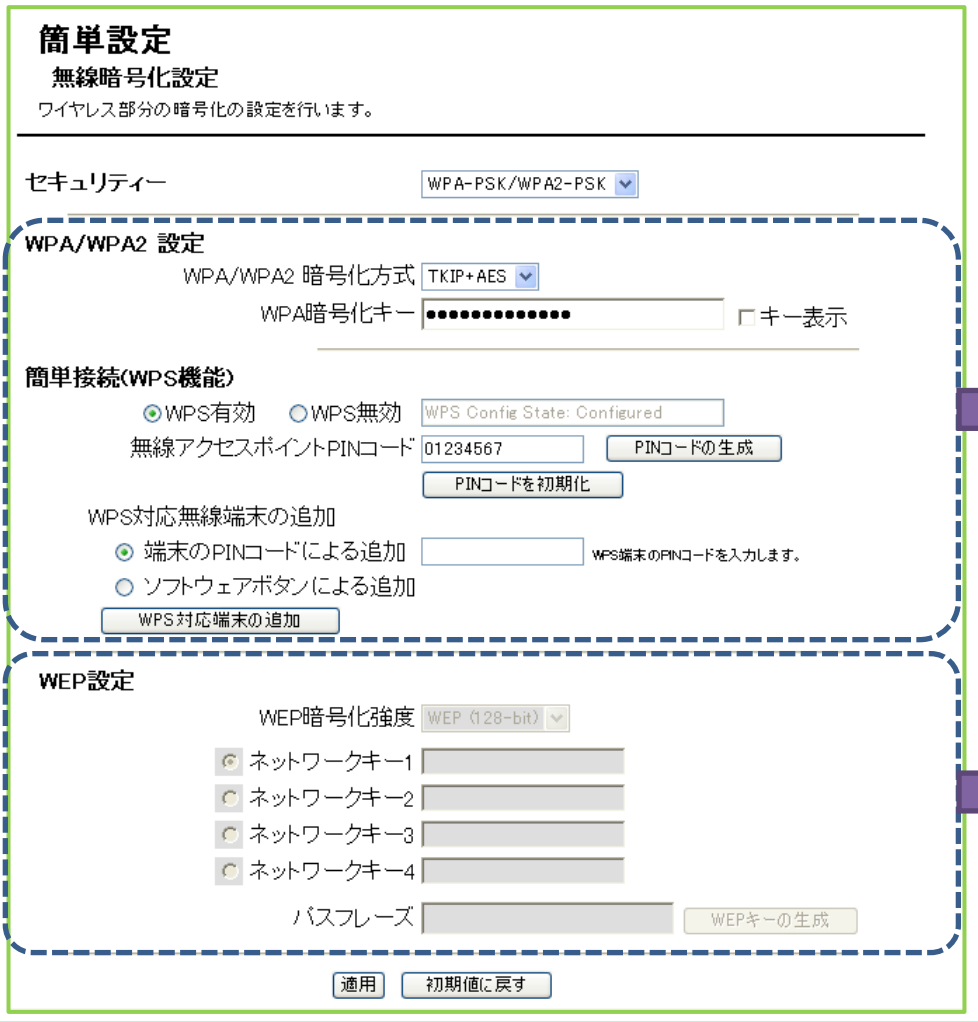
適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

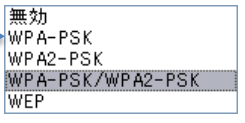
無線基本設定　無線暗号化設定



6ページへ

7ページへ

セキュリティー　WPA-PSK/WPA2-PSK



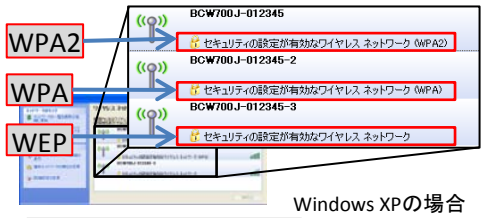
無線LANの暗号化規格を指定します。
“WPA2” がセキュリティーレベルが高く、次に”WPA” となります。
“WEP”については、セキュリティーが低いため、セキュリティーを必要とする通信には使用しないことを推奨致します。
”無効”の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことをお勧め致します。

初期値：WPA -PSK/WPA2-PSK

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、セキュリティーの高い【WPA2-PSK】が使用されます。通常はそのままでご使用いただけます。
簡単設定（プライマリネットワーク）のセキュリティーを【WEP】または、【無効】に設定した場合、簡単接続（WPS機能）が無効となります。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定をWEPにすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セカンダリネットワークのみをWEPに設定して、プライマリネットワークと分けて使用することでセキュリティー低下を抑えることができます。　【無線LAN設定⇒セカンダリネットワーク】

19ページへ



Windows XPの場合

適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

暗号化規格別セキュリティレベル

	全て Disable	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA	WPA2
セキュリティレベル	なし	低←			→高

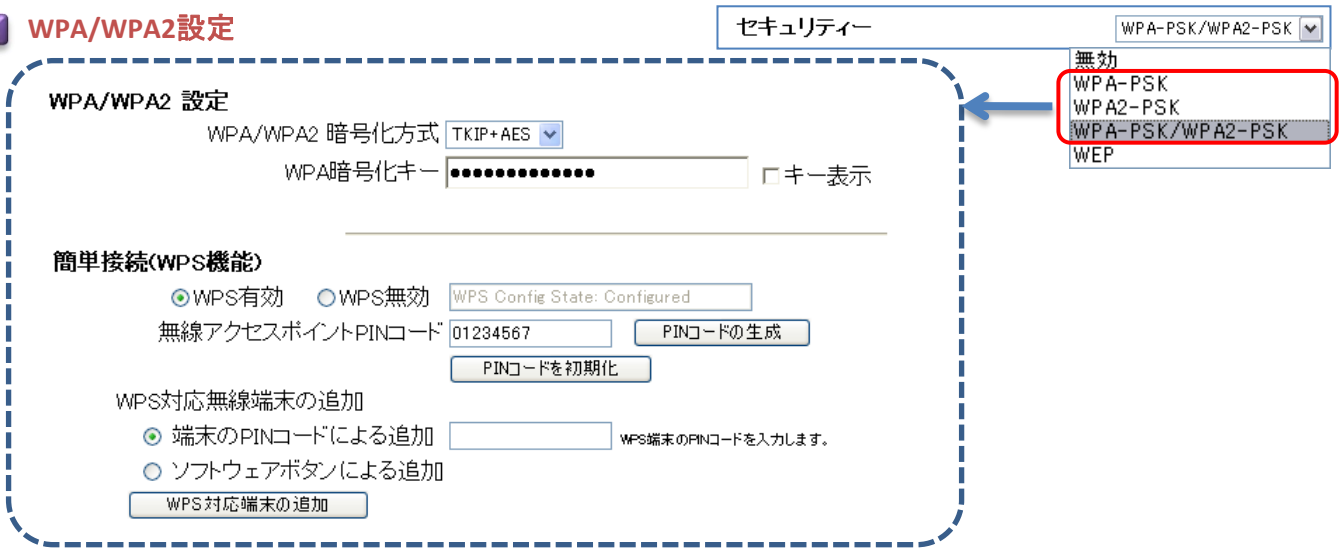
WPA-PSK,WPA2-PSKの「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となります。
共有キーを使用して認証・暗号化します。

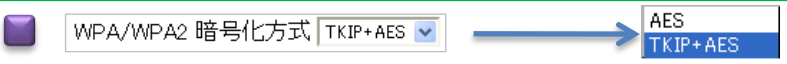
Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

無線基本設定　無線暗号化設定

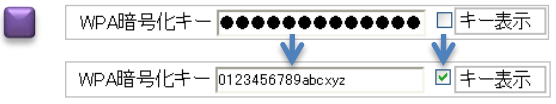
WPA/WPA2設定





WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。

初期値：TKIP+AES



【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。
文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA-2PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

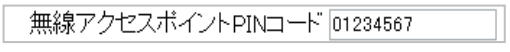
初期値：本製品側面のラベルに記載されている 「WPA暗号キー」 をご確認ください。

簡単接続（WPS機能）

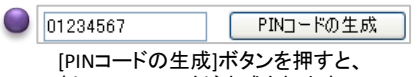
WPS対応端末では、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、WPA-PSK または、WPA2-PSKのセキュリティーに簡単接続することができます。WPS機能の有効/無効を指定します。本機能はセキュリティーが"WEP","無効"設定時は利用できません。

初期値：WPS有効

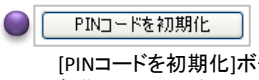
本製品のPINコードをWPS対応端末に登録する場合



無線アクセスポイント（本製品）側のPINコードが表示されます。
このPINコードをWPS対応端末に登録することで接続することができます。

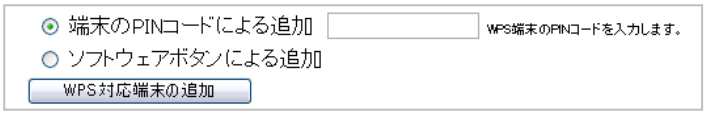


[PINコードの生成]ボタンを押すと、新しいPINコードが生成されます。

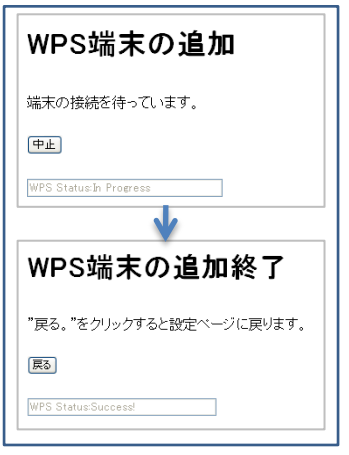


[PINコードを初期化]ボタンを押すと初期のPINコードに戻ります。

WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合



WPS対応端末を操作し、端末側のPINコード確認します。
次に、上図の[端末のPINコードによる追加]を選択し、右側の入力欄に端末側のPINコードを入力します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。



WPS対応端末のプッシュボタン方式を使い登録する場合

WPS対応端末を操作し、端末側のWPS押しボタンまたは、それに相当する機能を有効にします。
次に、上図の[ソフトウェアボタンによる追加]を選択します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

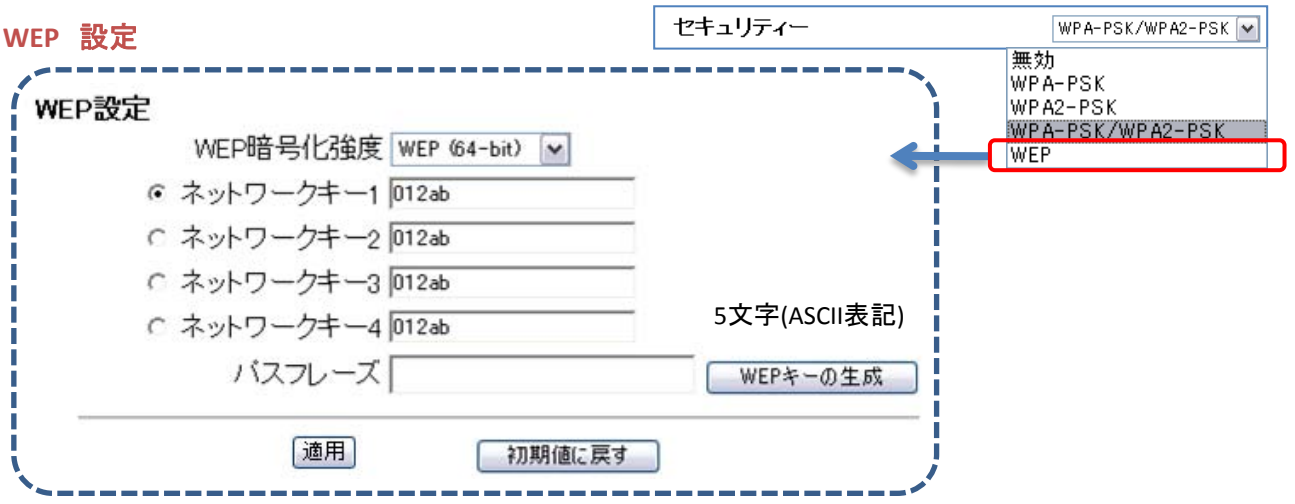
・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

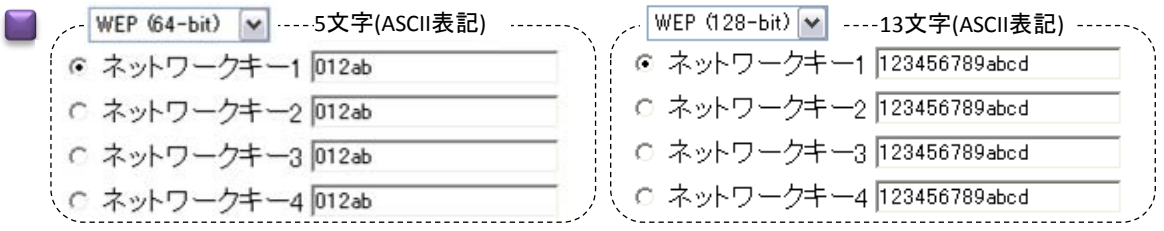
無線基本設定　無線暗号化設定

WEP 設定



セキュリティーの項目を"WEP"に設定した場合に本設定が表示されます。
WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。
WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID（サードSSID）を使用します。

初期値：WEP(128-bit)　・・・セキュリティ：WEP設定時



無線LAN暗号化方式WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。
ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。文字数の過不足があるとエラーが表示されます。
ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

ネットワークキーの初期値　：(自動生成)
使用するネットワークキー　：ネットワークキー：1

接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないで下さい。

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。

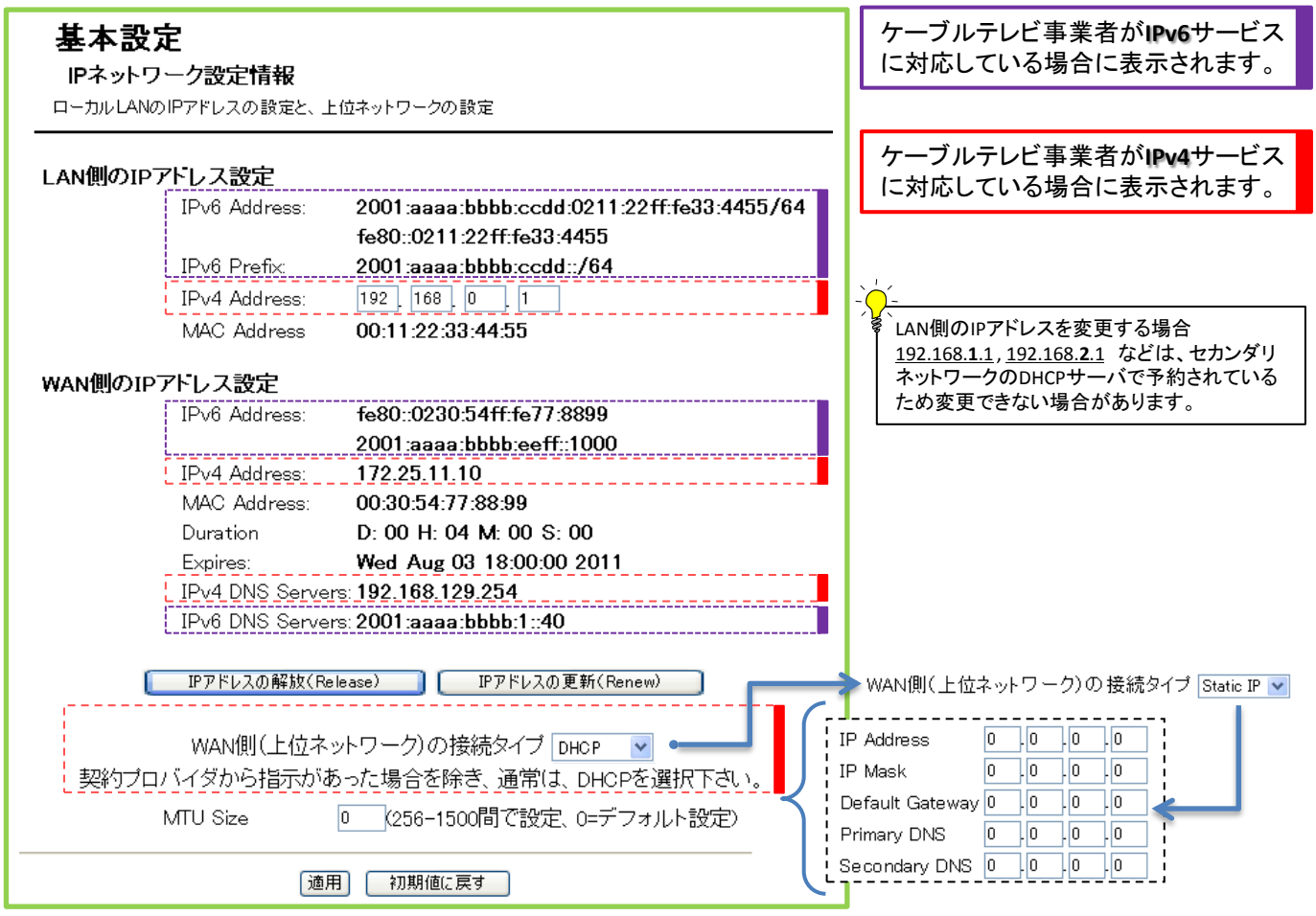
パスフレーズに文字列（英数字）を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すと
ネットワークキー1～4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | DDNS設定 | バックアップ | 設定初期化 | ログイン設定



ケーブルテレビ事業者が**IPv6**サービスに対応している場合に表示されます。

ケーブルテレビ事業者が**IPv4**サービスに対応している場合に表示されます。

LAN側のIPアドレスを変更する場合 192.168.**1**.1 , 192.168.**2**.1 などは、セカンダリネットワークのDHCPサーバで予約されているため変更できない場合があります。

LAN側のIPアドレス設定

LAN側(プライベートネットワーク)で使用するIPアドレスが表示されます。

IPv4 Address: 192 . 168 . 0 . 1 ・・・ 初期値192. 168. 0. 1 (本製品シールの"管理用アドレス"に記載)

IPv6 Address: 2001:aaaa:bbbb:ccdd:0211:22ff:fe33:4455/64 ・・・ LAN側のIPv6のグローバルアドレスが表示されます。(例 200x:)
fe80::0211:22ff:fe33:4455 ・・・ LAN側のIPv6のリンクローカルアドレスが表示されます。(fe80:)
IPv6 Prefix: 2001:aaaa:bbbb:ccdd::/64 ・・・ DHCP-PDで取得したIPv6アドレスのプレフィックス部分が表示されます。

MAC Address 00:11:22:33:44:55 ・・・ LAN側のMACアドレスが表示されます。(本製品のシールには記載されていません)

WAN側のIPアドレス設定

WAN側(上位側のネットワーク)で使用するIPアドレスが表示されます。

IPv4 Address: 172.25.11.10 ・・・上位ネットワークと通信するためのIPv4アドレスが表示されます。
IPv4 DNS Servers: 192.168.129.254 ・・・IPv4のDNSサーバアドレスが表示されます。

IPv6 Address: fe80::0230:54ff:fe77:8899 ・・・上位ネットワーク(同一セグメント内)と通信するためのIPv6リンクローカルアドレスが表示されます。(fe80:)
2001:aaaa:bbbb:eeff::1000 ・・・上位ネットワークと通信するためのIPv6グローバルアドレスが表示されます。(例 200x:)
IPv6 DNS Servers: 2001:aaaa:bbbb:1::40 ・・・IPv6のDNSサーバアドレスが表示されます。

MAC Address: 00:30:54:77:88:99 ・・・上位ネットワークの通信用のMACアドレスが表示されます。(本製品シールの"WAN-MAC"に記載)
Duration D: 00 H: 04 M: 00 S: 00 ・・・アドレスのリース期間が表示されます。
Expires: Wed Aug 03 18:00:00 2011 ・・・アドレスのリース使用期限が表示されます。

IPアドレスの解放(Release) IPアドレスの更新(Renew) WAN側で使用するIPアドレスを再取得する場合に使用します。
[IPアドレスの解放(Release)]⇒ [IPアドレスの更新(Renew)]ボタンを押すと、即時有効となります。

WAN側(上位ネットワーク)の接続タイプ DHCP ケーブルテレビ事業者から指示があった場合を除き、必ず[DHCP]を選択下さい。

MTU Size 0 (256-1500間で設定、0=デフォルト設定) MTU サイズを指定します。 初期値:0

適用 初期値に戻す ・上記の変更内容を反映させる場合に**[適用]**ボタンを押します。([IPアドレスの解放]と[IPアドレスの更新]を除く)
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | DDNS設定 | バックアップ | 設定初期化 | ログイン設定

DHCPサーバ機能 有効 無効

LAN側（有線LAN、及び無線LANのプライマリネットワーク）のDHCPサーバ機能（IPアドレスの自動払い出し）の有効/無効を指定します。

開始アドレス 192.168.0. 10
終了アドレス 192.168.0. 254

IPアドレス払い出しの開始アドレスと、終了アドレスを指定します。

本製品の管理用IPアドレスの初期値は、192.168.0.1 となります。

開始アドレスを10からにすることにより、2～9を固定アドレスで割り振るというような使い方が可能となります。

リースタイム 86400 秒

DHCPのリースタイムを指定します。

初期値： 86400 秒

適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

DHCPクライアント情報

MAC Address	IP Address	サブネットマスク	動作時間	リース期限	選択
001122334455	192.168.000.010	255.255.255.000	D:01 H:00 M:00 S:00	Wed Mar 30 16:00:00 2011	○

現在のシステム時刻: Wed Mar 30 15:20:00 2011

強制削除

IPアドレスの払い出し状況を確認することができます。

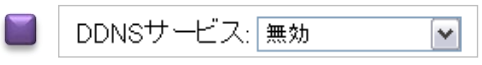
クライアントのリース情報を削除する場合は、削除する行を選択して[強制削除]ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | DDNS設定 | バックアップ | 設定初期化 | ログイン設定

設定内容についてはそのままでご使用いただけます。
必要な場合以外は設定しないで下さい。



DDNS(Dynamic-DNS)サービスの有効・無効を指定します。

DDNSサービスのユーザー名、パスワード、ホスト名を指定します。

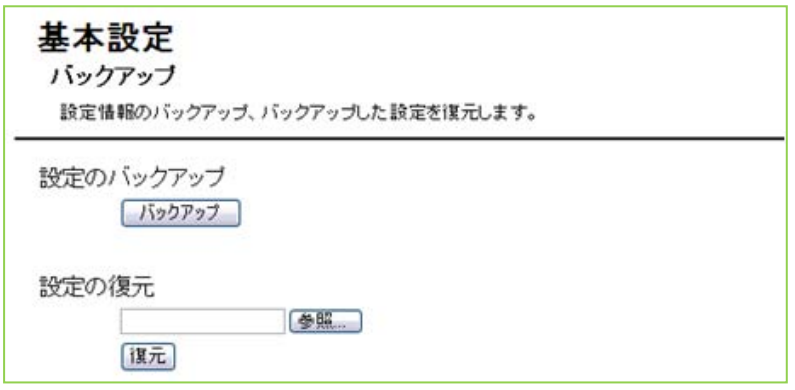
IPアドレスとステータスの情報が表示されます。

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | DDNS設定 | バックアップ | 設定初期化 | ログイン設定



本製品の設定情報をファイルに保存する場合（バックアップ）

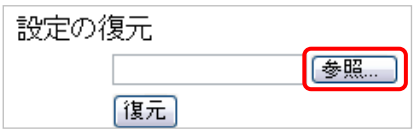
［バックアップ］ボタンを押します。

確認画面が表示されますので、［OK］を押します。

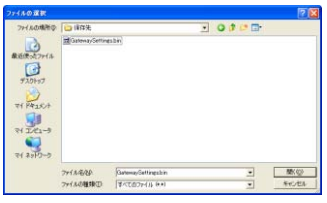
ファイルの保存画面が表示され、［保存］を押すと”GatewaySettings.bin”の名前で保存されます。

保存先例：　My Documents¥ダウンロード¥GatewaySettings.bin
（使用するブラウザによって保存先が異なります。）

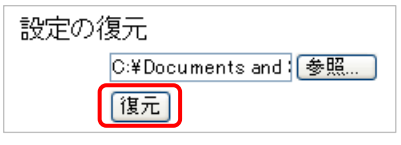
保存した設定ファイルから復元する場合



［参照］ボタンを押します。



ファイルの選択画面が表示されますので、あらかじめ保存しておいた”GatewaySettings.bin”を選択し、［開く］ボタンをします。



［復元］ボタンを押します。

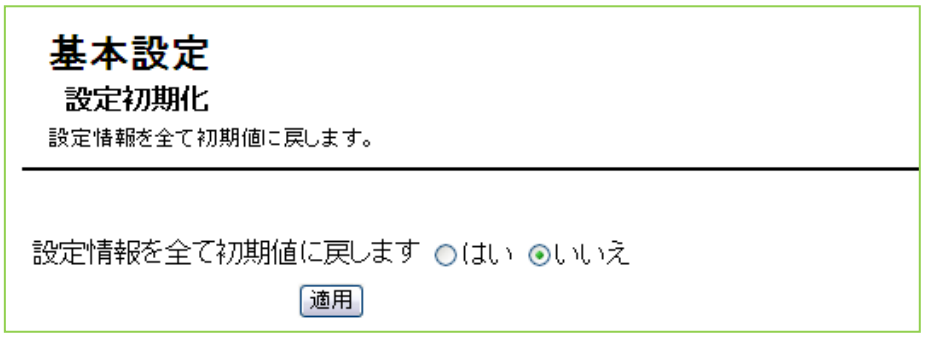
再起動確認画面が表示されます。［OK］を押すと自動的に再起動し、設定が復元されます。
本製品が再起動しますので起動が完了するまで、インターネットなどの通信が切断されます。

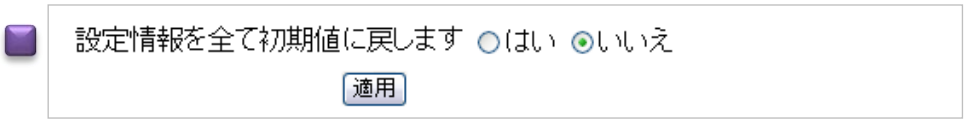
変更したパスワード情報も、設定ファイルに保存されます。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | DDNS設定 | バックアップ | 設定初期化 | ログイン設定





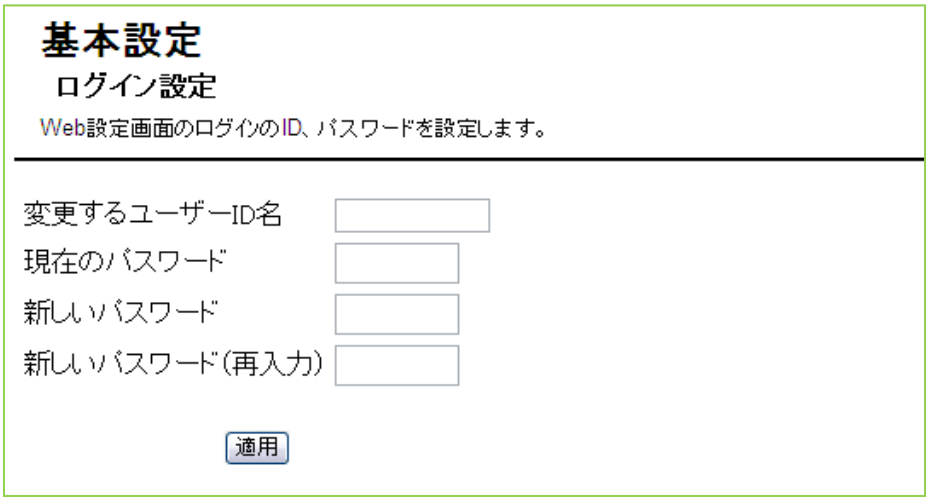
[はい]を選択後[適用]ボタンを押すと自動で再起動します。
再起動後、本製品の設定情報は工場出荷時の状態に戻ります。
起動が完了するまで、インターネットなどへの通信が切断されます。

パスワード情報も初期値に戻ります。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

IPネットワーク | DHCP設定 | DDNS設定 | バックアップ | 設定初期化 | ログイン設定



■ 変更するユーザーID名 user

変更するユーザーID名を入力します。

現在ログインしているユーザーのパスワードが変更可能となります。

● 現在のパスワード ●●●●

変更するユーザーIDの現在のパスワードを入力します。

● 新しいパスワード ●●●●
新しいパスワード(再入力) ●●●●

変更するユーザーIDの新しいパスワードを入力します。
入力ミスを防ぐため、同じものを再入力します。

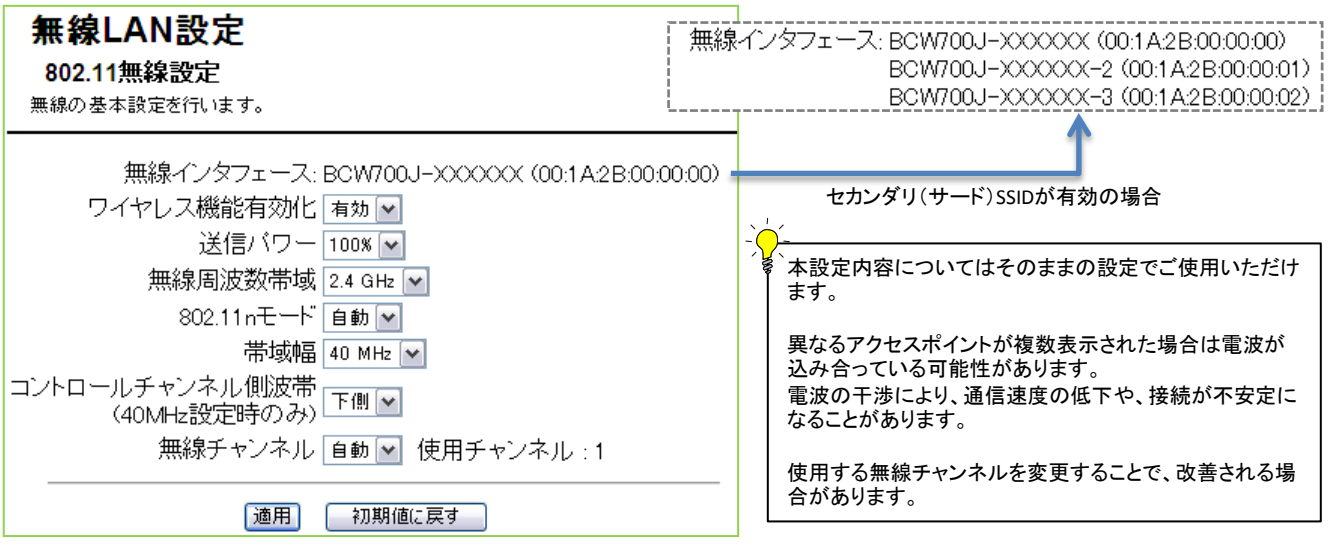
● 適用

[適用]ボタンを押すと新しいパスワードに変更されます。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



本設定内容についてはそのままの設定でご使用いただけます。

異なるアクセスポイントが複数表示された場合は電波が込み合っている可能性があります。
電波の干渉により、通信速度の低下や、接続が不安定になることがあります。

使用する無線チャンネルを変更することで、改善される場合があります。

本製品の無線LANインターフェースの共通の設定を変更します

無線インタフェース: BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)

本製品の無線LANインターフェースの情報が表示されます。(セカンダリネットワークが有効の場合複数表示されます)

ワイヤレス機能有効化 有効 → 有効 / 無効

本製品の無線LAN機能の有効/無効を指定します。
初期値: 有効

送信パワー 100% → 25% / 50% / 75% / 100%

無線LANの送信パワーを指定します。
初期値: 100%

無線周波数帯域 2.4 GHz

無線LANの周波数帯域を指定します。
(802.11 b/gと同じ2.4GHz帯のみとなります。)
初期値: 2.4GHz

802.11nモード 自動 → 無効 / 自動

無線LAN 802.11nのモードを有効(自動)/無効にするかを指定します。
802.11nで接続するには、接続する端末が規格に対応している必要があります。

無効にした場合は、802.11b(最大11Mbps), 802.11g(最大54Mbps)として動作します。
初期値: 自動

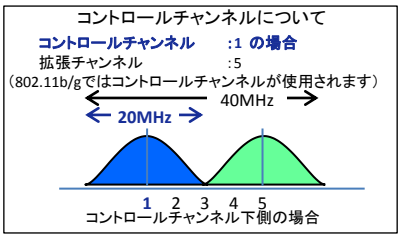
帯域幅 40 MHz

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を指定します。802.11 b/gでは20MHzの帯域幅を使用します。
802.11n では20MHzのほか、隣り合う2つのチャンネル帯域幅の40MHzを使用することでより高速な通信を実現します。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、40MHzを指定していても20MHzとして動作することがあります。
初期値: 40MHz

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ) 下側 → 下側 / 上側

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を40MHzに指定した場合において、隣り合う20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして下側と上側のどちらを使用するか指定します。
初期値: 下側



無線チャンネル 自動 使用チャンネル : 1 → 自動 / 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

無線LANで使用する電波のチャンネルを指定します。
自動の場合、周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され、
使用チャンネル:Xとして表示されます。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、干渉することがあります。
初期値: 自動

帯域幅が20MHzの場合1～13チャンネル。
帯域幅が40MHzの場合、コントロールチャンネルが下側、上側によって1～9又は、5～13チャンネルとなります。

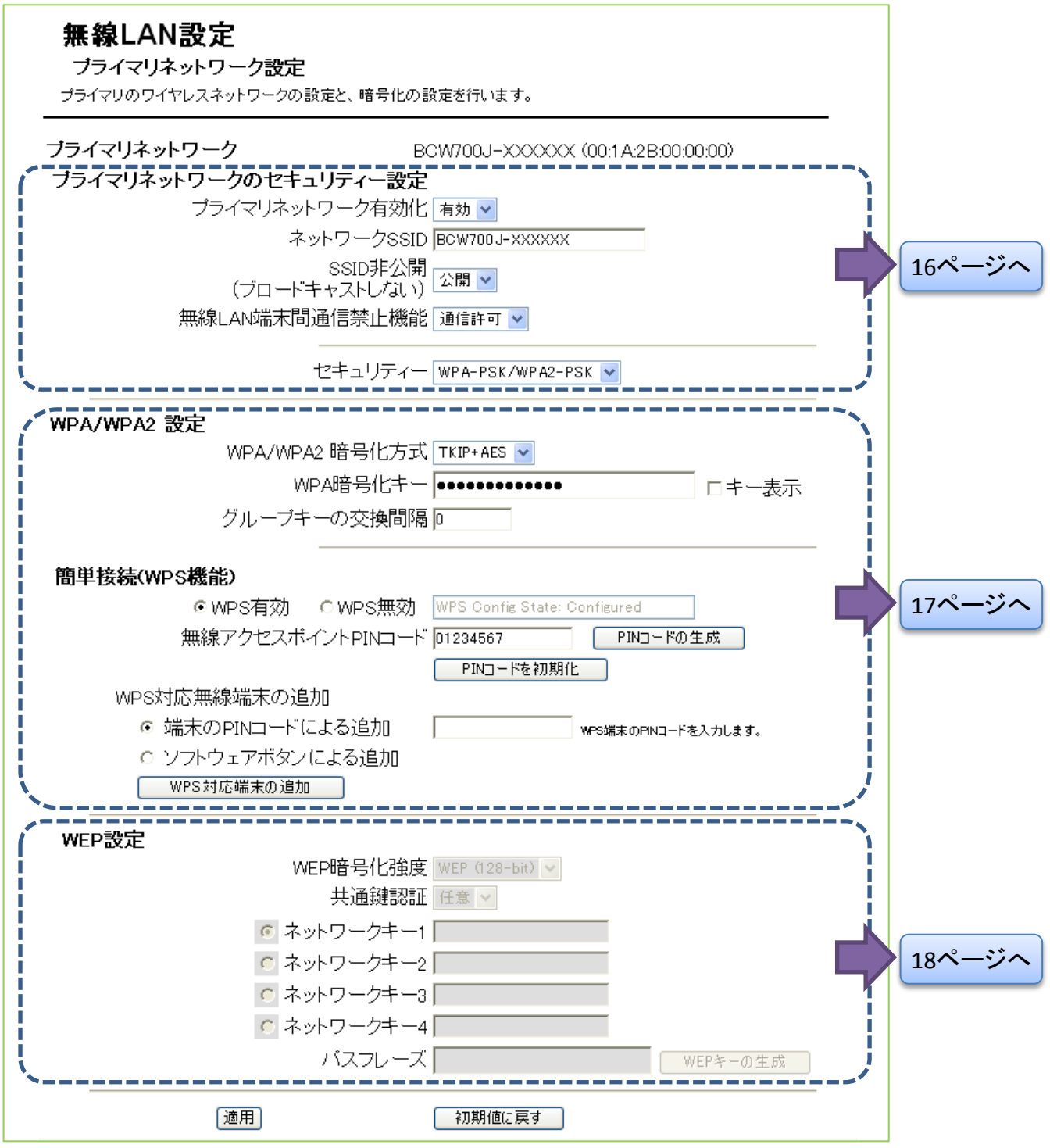
適用 | 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



プライマリネットワーク　BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)　・・・SSID名（MACアドレス）

無線LANのプライマリネットワークの設定を行います。
現在のプライマリネットワークのSSID名と無線LANのMACアドレスが表示されます。

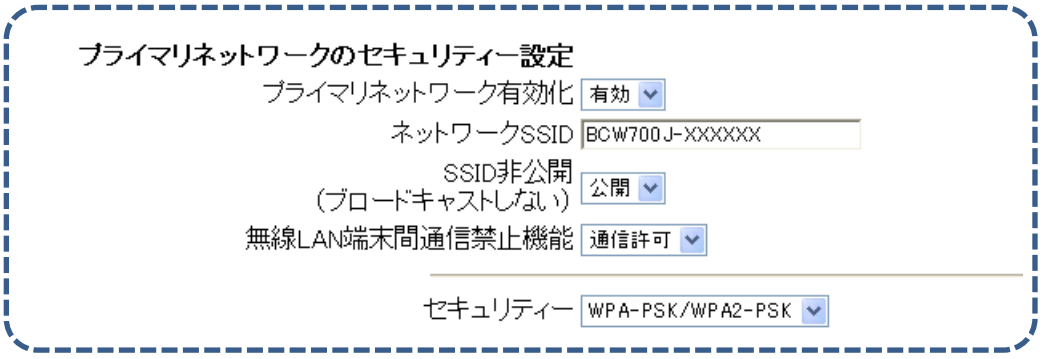
適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

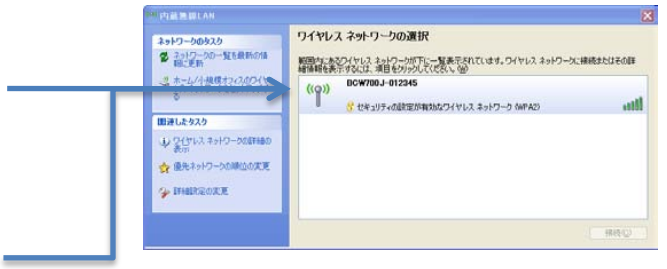
左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



プライマリネットワーク有効化 有効 → 無効 / 有効

無線LANのプライマリネットワークの有効/無効を指定します。
初期値：有効



ネットワークSSID BCW700J-XXXXXX

無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている
「プライマリーSSID」をご確認ください。

SSID非公開（ブロードキャストしない） 公開

「SSID非公開」を"公開"にした場合、無線LAN端末から本ネットワークSSIDを検索することができます。
"非公開"に設定した場合は、検索することができません。
なお、"非公開"を選択するには、簡単接続（WPS機能）を無効にする必要があります。
初期値：公開

無線LAN端末間通信禁止機能 通信許可 → 通信許可 / 通信禁止

通信許可

通信禁止

同じネットワークSSIDに接続している無線LAN端末間の通信を遮断することができます。
初期値：通信許可

セキュリティー WPA-PSK/WPA2-PSK → 無効 / WPA-PSK / WPA2-PSK / WPA-PSK/WPA2-PSK / WEP

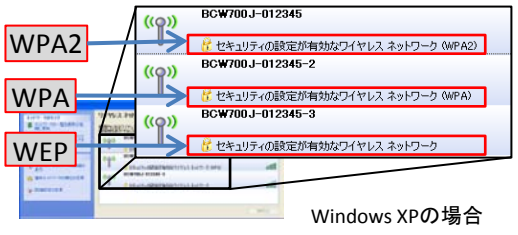
無線LANの暗号化規格を指定します。
"WPA2"がセキュリティーレベルが高く、次に"WPA"となります。
"WEP"については、セキュリティーが低いため、セキュリティーを必要としない通信のみに使用することを推奨致します。

"無効"の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことをお勧め致します。

初期値：WPA -PSK/WPA2-PSK

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、セキュリティーの高い【WPA2-PSK】が使用されます。通常はそのままでご使用いただけます。
簡単設定（プライマリネットワーク）のセキュリティーを【WEP】または、【無効】に設定した場合、簡単接続（WPS機能）が無効となります。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定をWEPにすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セカンダリネットワークのみをWEPに設定して、プライマリネットワークと分けて使用することでセキュリティー低下を抑えることができます。　【無線LAN設定⇒セカンダリネットワーク】



Windows XPの場合

暗号化規格別セキュリティレベル

	全て Disable	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA	WPA2
セキュリティレベル	なし	低←			→高

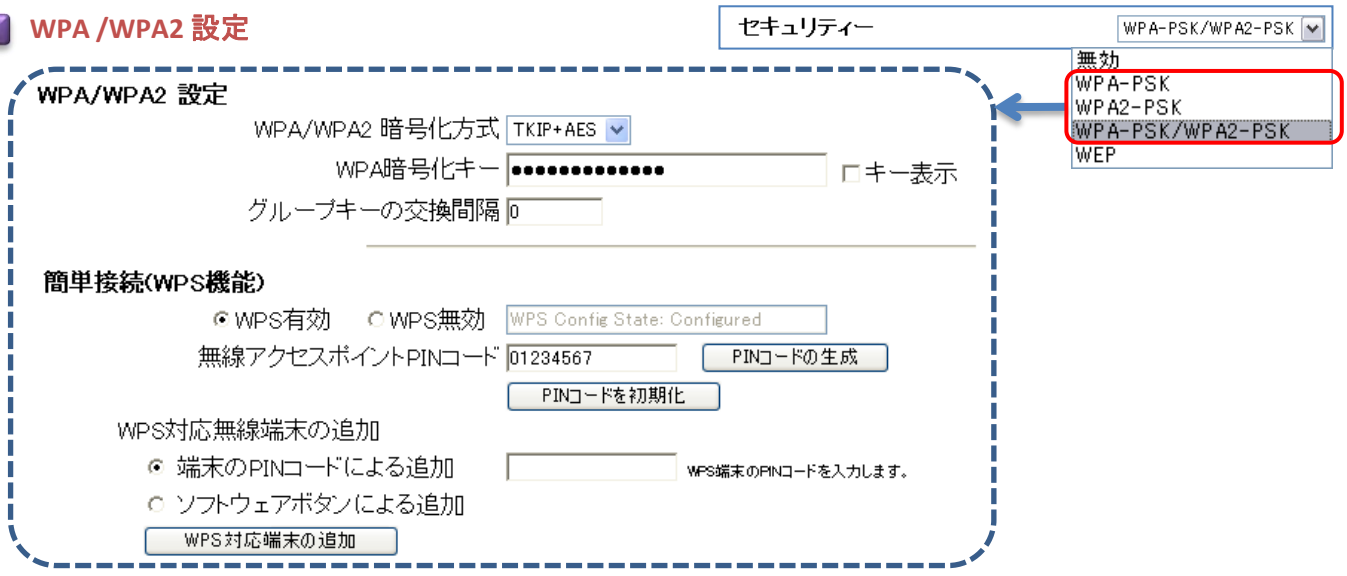
WPA-PSK,WPA2-PSKの「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となります。
共有キーを使用して認証・暗号化します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

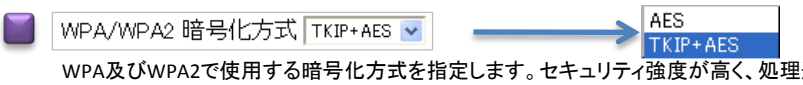
左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限

WPA /WPA2 設定



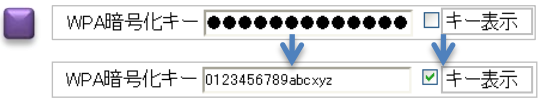
WPA/WPA2 暗号化方式



WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。

初期値：TKIP+AES

WPA暗号化キー

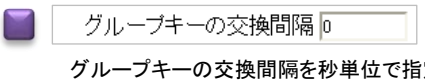


【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。
文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA-2PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている 「WPA暗号キー」 をご確認ください。

グループキーの交換間隔



グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。
初期値：0

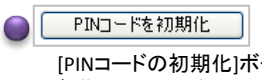
必要がある場合以外は変更しないで下さい。

簡単接続（WPS機能）

WPS対応端末では、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、WPA-PSK または、WPA2-PSK のセキュリティーに簡単接続することができます。WPS機能の有効/無効を指定します。本機能はセキュリティーが"WEP","無効"設定時は利用できません。

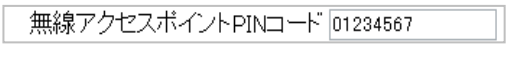
初期値：WPS有効

[PINコード生成]ボタンを押すと、
新しいPINコードが生成されます。



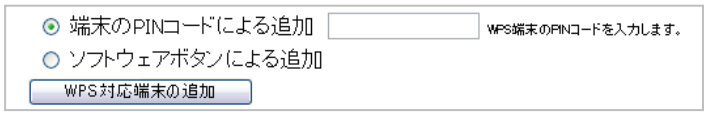
[PINコードの初期化]ボタンを押すと
初期のPINコードに戻ります。

本製品のPINコードをWPS端末に登録する場合

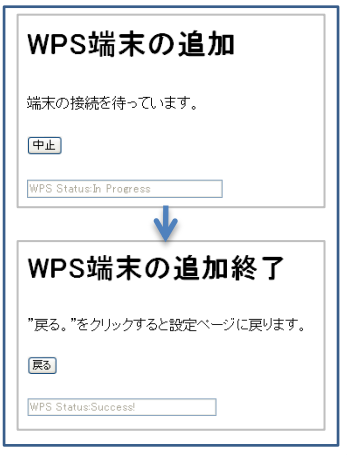


無線アクセスポイント（本製品）側のPINコードが表示されます。
このPINコードをWPS対応端末に登録することで接続することができます。

WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合



WPS対応端末を操作し、端末側のPINコード確認します。
次に、上図の[端末のPINコードによる追加]を選択し、右側の入力欄に端末側のPINコードを入力します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。



WPSのプッシュボタン方式を使い追加する場合

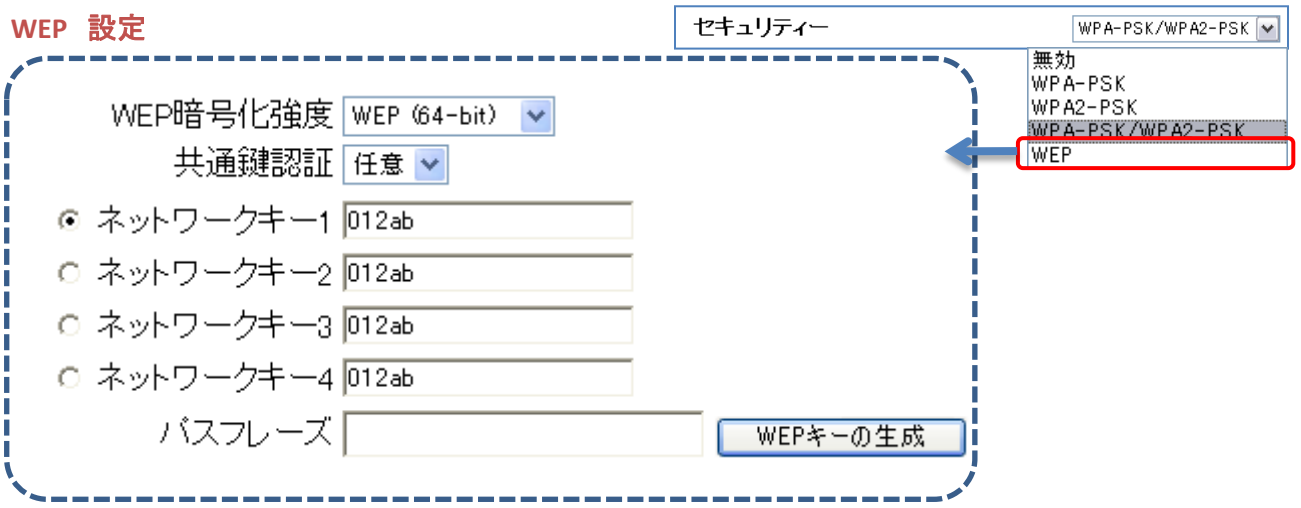
WPS対応端末を操作し、端末側のWPS押しボタンまたは、それに相当する機能を有効にします。
次に、上図の[ソフトウェアボタンによる追加]を選択します。
[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限

WEP 設定



セキュリティーの項目を"WEP"に設定した場合に本設定が表示されます。
WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。
WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID（サードSSID）を使用します。

初期値：WEP(128-bit)　・・・セキュリティ：WEP設定時

無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。
必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。

初期値：任意

必要な場合以外は変更しないで下さい。

WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。
ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。文字数の過不足があるとエラーが表示されます。
ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないで下さい。

ネットワークキーの初期値　：(自動生成)
使用するネットワークキー　：ネットワークキー：1

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。

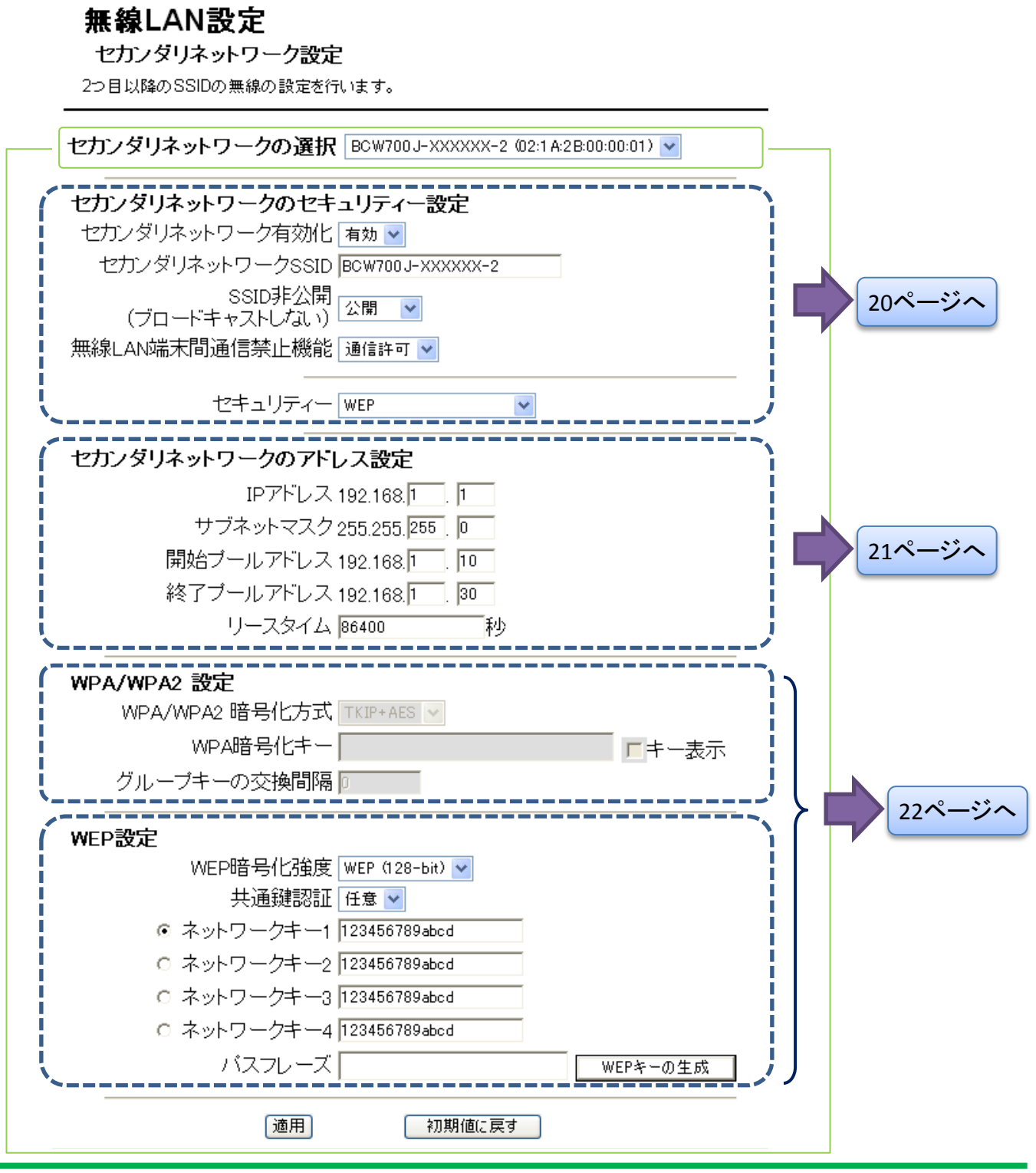
パスフレーズに文字列（英数字）を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すと
ネットワークキー1～4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



セカンダリネットワークの選択 BCW700J-XXXXXX-2 (02:1A:2B:00:00:01)

BCW700J-XXXXXX-2 (02:1A:2B:00:00:01)
BCW700J-XXXXXX-3 (02:1A:2B:00:00:02)

・・・SSID名（MACアドレス）

無線LANのセカンダリネットワークの設定を行います。
プライマリネットワークのSSIDとは別に、2つのSSIDのネットワークを追加できます（マルチSSID）。
設定を変更または確認するSSID名を選択します。

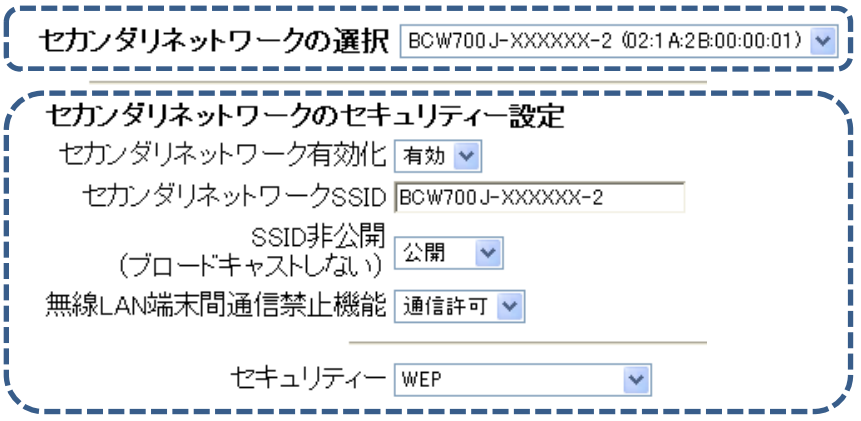
適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



2つ目以降(2,3)のSSIDが表示されます。
設定を行うSSIDを選択します。

セカンダリネットワーク有効化 有効 → 無効 / 有効

無線LANのセカンダリネットワークの有効/無効を指定します。
初期値：無効

セカンダリネットワークSSID BCW700J-XXXXXX-2

無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
初期値：「プライマリーSSID名」+「-2」
初期値：「プライマリーSSID名」+「-3」

SSID非公開(ブロードキャストしない) 公開

「SSID非公開」を"公開"にした場合、無線LAN端末から本ネットワークSSIDを検索することができます。
"非公開"に設定した場合は、検索することができません。

初期値：公開

無線LAN端末間通信禁止機能 通信許可 → 通信許可 / 通信禁止

同じネットワークSSIDに接続している無線LAN端末間の通信を遮断することができます。
初期値：通信許可

通信許可

通信禁止

セキュリティー WEP → 無効 / WPA-PSK / WPA2-PSK / WPA-PSK/WPA2-PSK / WEP

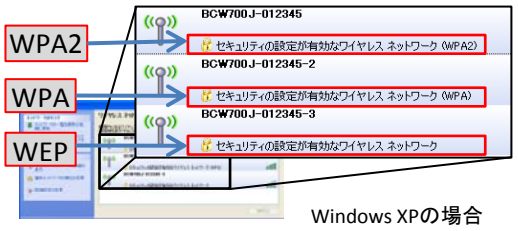
無線LANの暗号化規格を指定します。
"WPA2"がセキュリティーレベルが高く、次に"WPA"となります。
"WEP"については、セキュリティーが低いため、セキュリティーを必要としない通信のみに使用することを推奨致します。

"無効"の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことをお勧め致します。

初期値：WEP

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定を【WEP】にすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セキュリティーを必要としない通信のみに限定してセカンダリネットワークを使用します。
プライマリネットワークとセカンダリネットワークを分けて使用することで、セキュリティーの低下を抑えることができます。

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、セキュリティーの高い【WPA2-PSK】が使用されます。



Windows XPの場合

暗号化規格別セキュリティレベル

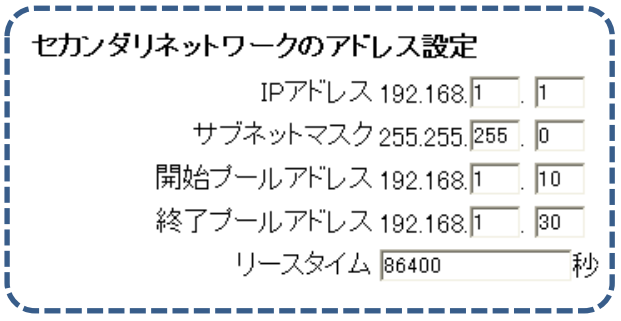
	全て Disable	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA	WPA2
セキュリティレベル	なし	低←			→高

WPA-PSK,WPA2-PSKの「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となります。
共有キーを使用して認証・暗号化します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

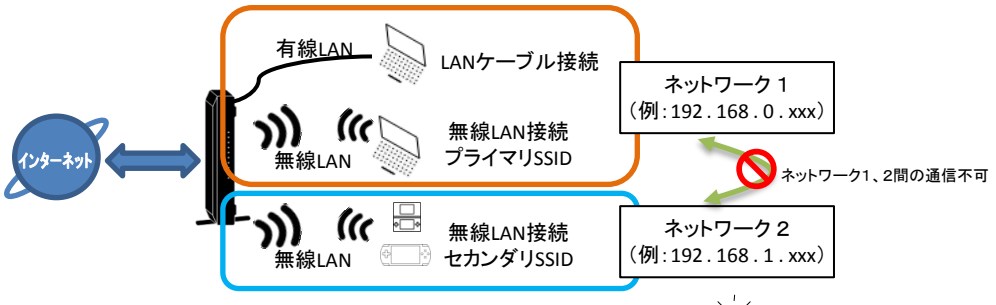
左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限

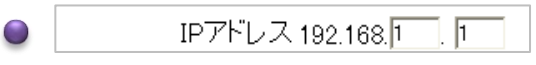


セカンダリネットワークのアドレス設定

セカンダリネットワークのアドレスを設定します。
セカンダリネットワークは、プライマリネットワーク（有線LANネットワークを含む）と異なるネットワークアドレスとなります。
そのため、セカンダリネットワークでは、プライマリネットワークの無線LAN及び有線LANとの通信はできません。

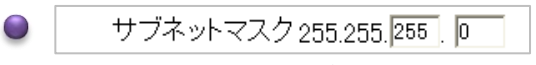


セカンダリネットワークからは、本製品の設定画面にアクセスできません。プライマリネットワークからおこなって下さい。

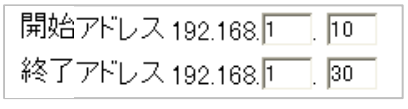


セカンダリネットワークのゲートウェイIPアドレスを指定します。
初期値(2nd)　：192．168．1．1　　初期値(3rd)　：192．168．2．1

LAN側のIPアドレスを変更する場合192.168.**0**.1，192.168.**1**.1，192.168.**2**.1は、プライマリ及びセカンダリネットワークのDHCPサーバで予約されているため、設定できない場合があります。

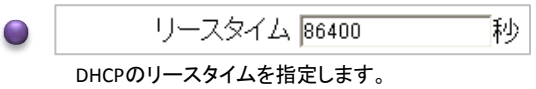


セカンダリネットワークのサブネットマスクを指定します。
初期値：255．255．255．0



セカンダリネットワークのDHCPサーバから払い出されるアドレスレンジを、開始アドレスと終了アドレスで指定します。

	初期値（2nd）	初期値（3rd）
開始アドレス：	192．168．1．10	192．168．2．10
終了アドレス：	192．168．1．30	192．168．2．30



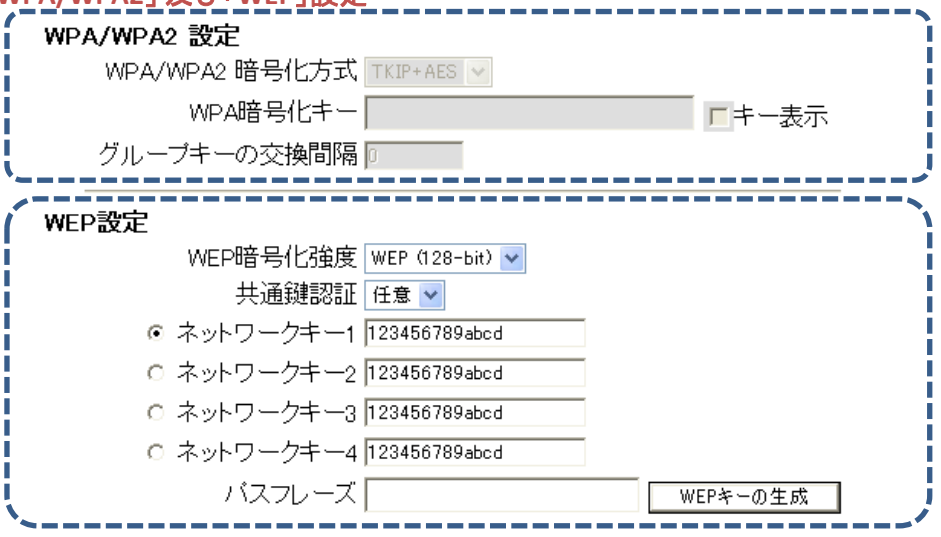
DHCPのリースタイムを指定します。
初期値：86400

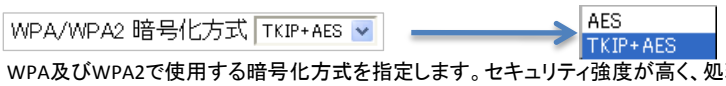
Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限

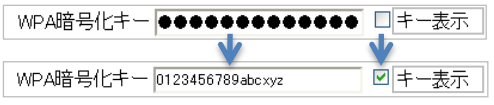
「WPA/WPA2」及び「WEP」設定





WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。

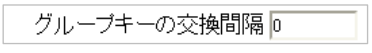
初期値：TKIP+AES



【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA-2PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

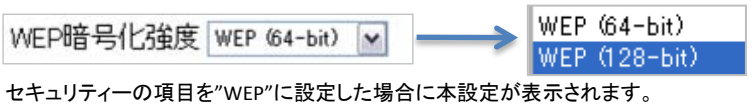
初期値：本製品の側面にあるラベルに記載されている 「WPA暗号キー」 をご確認ください。



グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。

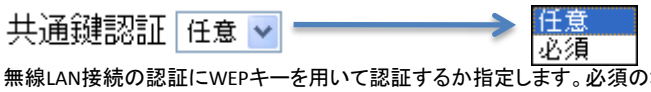
初期値：0

必要がある場合以外は変更しないで下さい。



セキュリティーの項目を"WEP"に設定した場合に本設定が表示されます。
WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。

初期値：WEP(128-bit) ・・・セキュリティ：WEP設定時



必要な場合以外は変更しないで下さい。

無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。

初期値：任意

WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。
ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。文字数の過不足があるとエラーが表示されます。
ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

ネットワークキーの初期値　：(自動生成)
使用するネットワークキー　：ネットワークキー：1

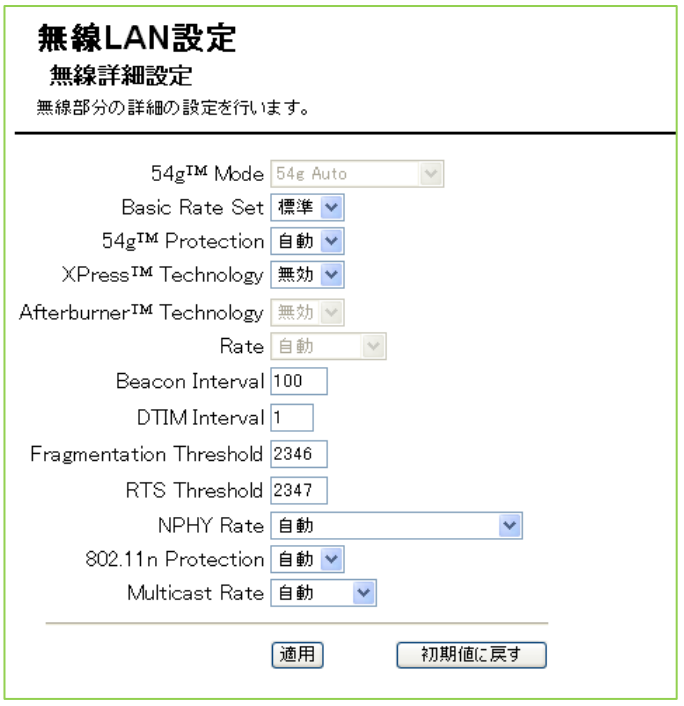
接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないで下さい。

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。パスフレーズに文字列（英数字）を入力し[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー1～4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

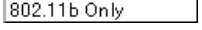
左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



本ページの無線詳細設定は、必要がある場合以外は変更しないで下さい。
変更内容によっては接続できなくなることがあります。

54g™ Mode 54g Auto



［無線LAN設定］⇒［802.11無線設定］
802.11nモード 無効 / 無効 / 自動
設定が無効の場合に設定変更可能

無線LANの 54g™の設定を変更します。(802.11n無効時)
初期値： 54g Auto
・[54g Auto]互換性重視、通常はAutoを選択
・[54g Performance]パフォーマンス優先
・[54g LRS](Limited Rate Support) 古い802.11bの端末で問題がある場合の為のモード(パフォーマンスが低下することがあります)
・[802.11b Only] 802.11bモード(最大11Mbps)のみの接続

Basic Rate Set 標準

Basic Rateを指定します。
初期値:標準

54g™ Protection 自動

・[自動] 802.11b/gの混在環境で802.11bとの衝突を防ぐ保護メカニズム(RTS/CTS)を使用します。
・[なし] 802.11bが接続されていない環境では、保護メカニズムを使用せずに全パフォーマンスを使用できます。
初期値:自動

XPress™ Technology 無効

無線データ伝送のネットワークパフォーマンスを向上させるフレームバースト技術。
初期値:無効

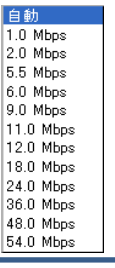
Afterburner™ Technology 無効

無線データ伝送の802.11g通信上でネットワークパフォーマンスを向上させるフレームバースト及びデータ圧縮技術。
初期値: 無効

Rate 自動

【54g™ Mode 】が［802.11b only ］の場合

【54g™ Mode 】が [54g Auto] , [54g Performance] , [54g LRS]の場合

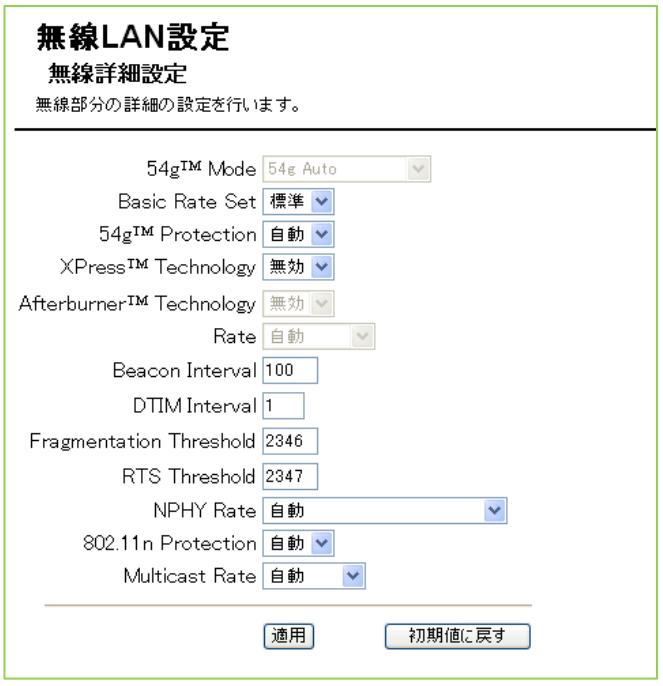


802.11nが無効時の無線LANの最大伝送速度を指定します。
初期値: 自動 （11b:最大11Mbps, 11g:最大54Mbps）

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限



本ページの無線詳細設定は、必要がある場合以外は変更しないで下さい。
変更内容によっては接続できなくなることがあります。

Beacon Interval 100

アクセスポイントから一定間隔で送られる、同期用のパケット（ビーコン）の間隔を指定します。
初期値：100 （ms）　10～30000ms

DTIM Interval 1

同期用のパケット（ビーコン）に対して、この設定で指定した回数に1回DTIM(Delivery Traffic Indication Massage)が含まれます。
省電力モードの無線LAN端末において、DTIMが含まれているとき受信を行います。それ以外は仮眠状態となります。
初期値：1

Fragmentation Threshold 2346

パケットを送信する際の分割サイズを指定します。設定したサイズよりも大きなパケットを送信するときパケットを分割します。
初期値：2346　入力範囲：256～2346

RTS Threshold 2347

アクセスポイントから無線LAN端末へデータのパケットを送信する前に、RTS(送信要求)パケットを送信して、データを送信して良いか確認します。この閾値を小さくすると、RTSの回数が増え、一般的にスループットが低下します。
初期値：2347　入力範囲：1～2347

NPHY Rate 自動

802.11n有効時の無線LANの最大伝送速度を指定します。
初期値：自動　（11b:最大11Mbps, 11g：最大54Mbps , 11n:最大130Mbps or 270Mbps）

- 自動
- Use Legacy Rate
- 0: 6.5 Mbps or 13.5 Mbps
- 1: 13 Mbps or 27 Mbps
- 2: 19.5 Mbps or 40.5 Mbps
- 3: 26 Mbps or 54 Mbps
- 4: 39 Mbps or 81 Mbps
- 5: 52 Mbps or 108 Mbps
- 6: 58.5 Mbps or 121.5 Mbps
- 7: 65 Mbps or 135 Mbps
- 8: 13 Mbps or 27 Mbps
- 9: 26 Mbps or 54 Mbps
- 10: 39 Mbps or 81 Mbps
- 11: 52 Mbps or 108 Mbps
- 12: 78 Mbps or 162 Mbps
- 13: 104 Mbps or 216 Mbps
- 14: 117 Mbps or 243 Mbps
- 15: 130 Mbps or 270 Mbps

802.11n Protection 自動

・[自動] 802.11b/gが周囲に混在する環境では、802.11b/gと802.11nとの通信の衝突を防ぐように動作します。
・[なし] 802.11b/gが周囲に混在しない環境では、保護メカニズムを使用せずに全パフォーマンスを使用できます。
初期値：自動

Multicast Rate 自動

マルチキャストの転送レートを指定します。
初期値：自動

- 自動
- 1 Mbps
- 2 Mbps
- 5.5 Mbps
- 6 Mbps
- 9 Mbps
- 11 Mbps
- 12 Mbps
- 18 Mbps
- 24 Mbps
- 36 Mbps
- 48 Mbps
- 54 Mbps

適用　初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

802.11無線設定 | プライマリネットワーク | セカンダリネットワーク | 無線詳細設定 | アクセス制限

無線インターフェース　BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)

アクセス制限を行うネットワークのSSID名を選択します。

MACアドレス限定方法　無効

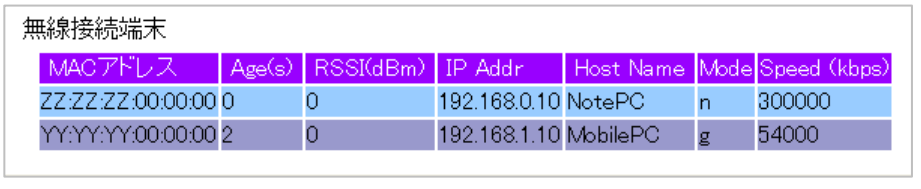
選択した無線LANインターフェースにおいて、MACアドレスによるアクセス制限機能を設定します。
- [無効]現在の無線インターフェースにおいてアクセス制限機能を無効にします。
- [許可]現在の無線インターフェースにおいて指定したMACアドレスのみアクセスを許可します。
- [拒否]現在の無線インターフェースにおいて指定したMACアドレスのみアクセスを拒否にします。

初期値：無効

各インターフェースにMACアドレスを16件まで登録ができます。

適用　初期値に戻す

- 上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
- 上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

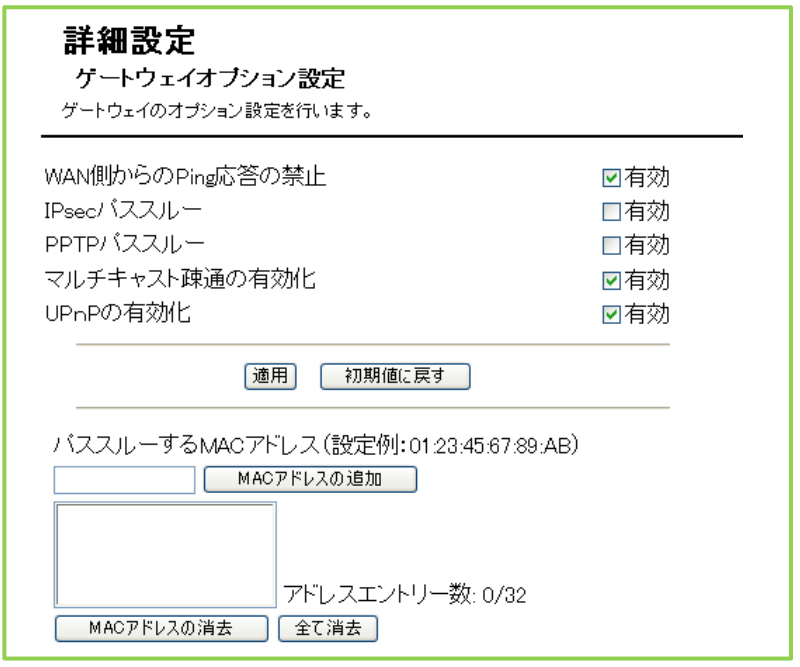


本製品に無線LANで接続されている端末のMACアドレスなどの情報が表示されます。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

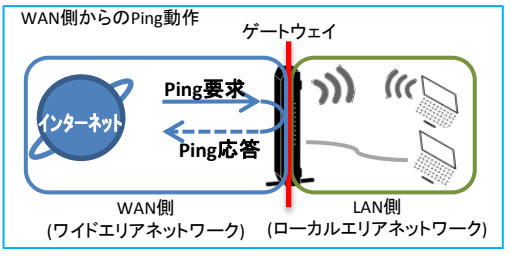
左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール



WAN側からのPing応答の禁止 ☑有効

WAN側からの本製品宛のPing要求に対してPingの応答を禁止するか指定します。
初期値:有効(Pingの応答をしない)



IPsecパススルー ☐有効

インターネットで暗号化通信を行うための規格。仮想プライベートネットワーク(VPN)などで利用されます。この通信を通過させるか指定します。
初期値:無効(IPsecを通さない) (IPsec: Security Architecture for IP)

PPTPパススルー ☐有効

インターネットで暗号化通信を行うための規格。仮想プライベートネットワーク(VPN)などで利用されます。この通信を通過させるか指定します。
初期値:無効(PPTPを通さない) (PPTP: Point-to-Point Tunneling Protocol)

マルチキャスト疎通の有効化 ☑有効

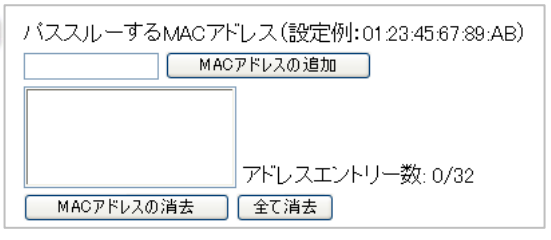
マルチキャストを通すか指定します。
初期値:有効(マルチキャストを通す)

UPnPの有効化 ☑有効

UPnP機能を使用するか指定します。
無効にした場合UPnP機能を利用した音声・映像チャット、ゲームなどの通信でアプリケーション・機器が制限されたり、動作しなくなる可能性があります。
初期値:有効 (UPnP: Universal Plug and Play)

適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

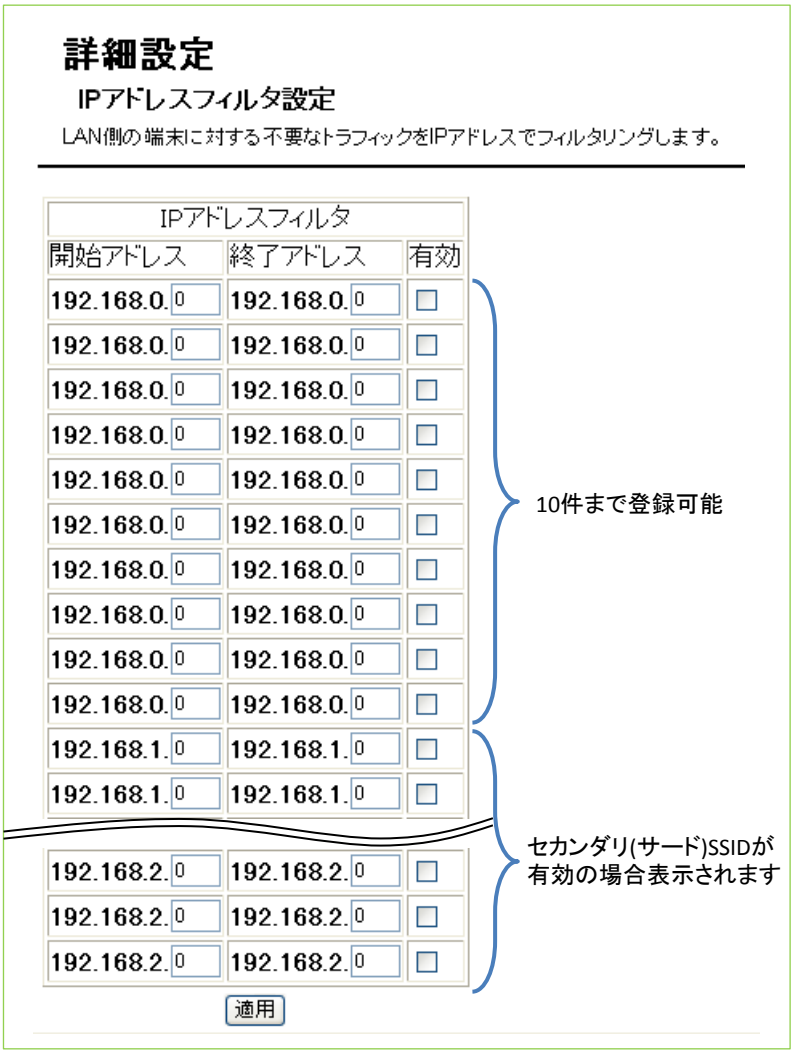


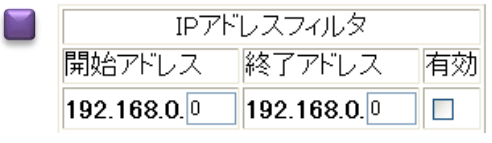
IPsecパススルー、PPTPパススルーをさせる機器のMACアドレスを指定します。
MACアドレスを入力し、[MACアドレスの追加]ボタンを押します。
MACアドレスを削除する場合は、[全て消去]ボタンを押すか、削除する値を選択して、[MACアドレスの消去]ボタンを押します。
最大32件まで登録可能。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール

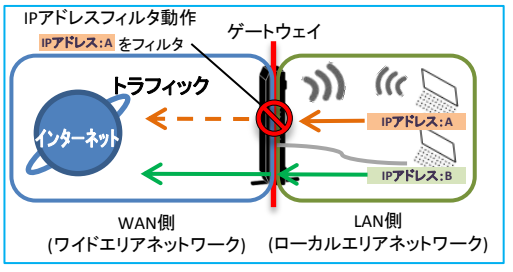




指定したLAN側のIPアドレスからのトラフィックをブロックします。
ブロックするLAN側のIPアドレスを、開始アドレスと終了アドレスで指定します。
ブロックする場合はチェックを入れます。
最大10件分を登録できます。

初期値：無効（ブロックしない）

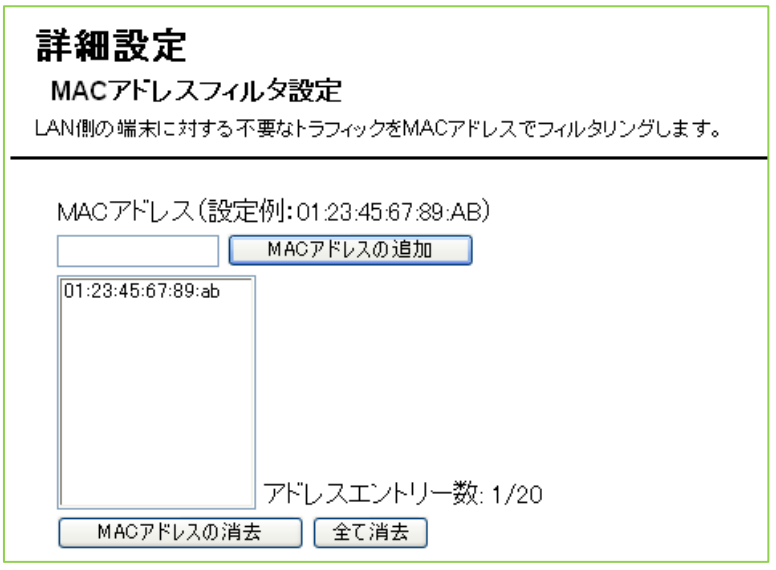
上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

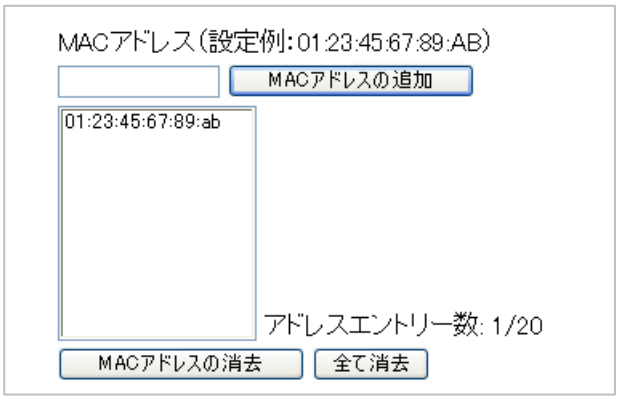


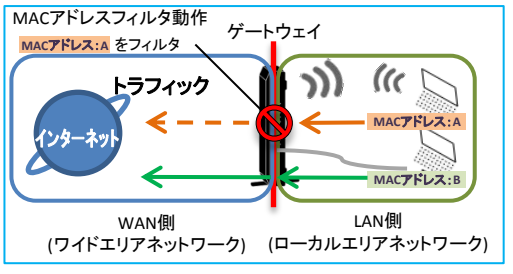
Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール







指定したLAN側のMACアドレスからのトラフィックをブロックします。
ブロックするMACアドレスを指定します。
最大20件のMACアドレスを登録できます。

初期値:(MACアドレス未登録、ブロックしない)

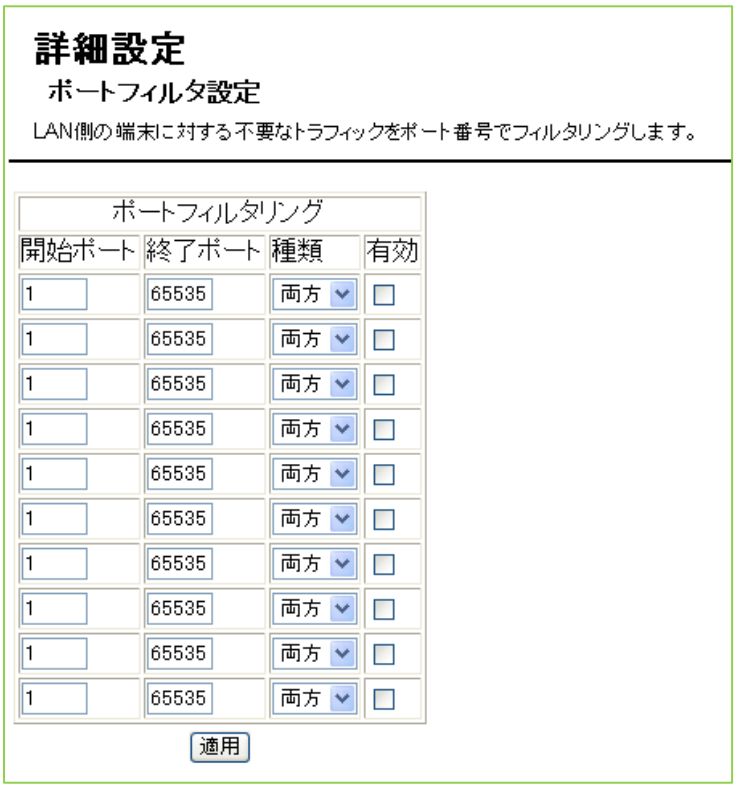
適用

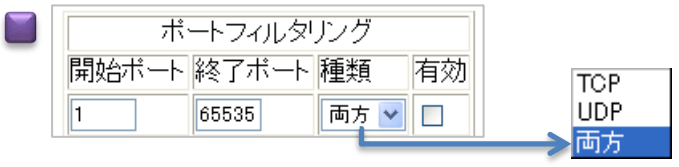
上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

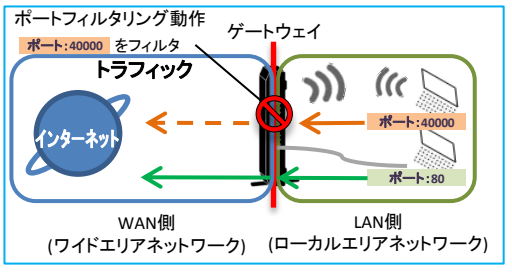
ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール





指定したLAN側のポート番号からのトラフィックをブロックします。
・ブロックする開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。
・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
・ブロックする場合は、横の有効にチェックを入れます。
最大10件分の範囲を登録できます。

初期値： 無効(ブロックしない)



上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール

詳細設定

ポートフォワード設定

LAN側に設置されたWebサーバ、FTPサーバ、メールサーバなどの特定のポート番号のインターネット側からのトラフィックを、LAN側にフォワード(転送)する設定を行います。

ポートフォワード

IPアドレス	開始ポート	終了ポート	種類	有効
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.0. 0	0	0	両方	□
192.168.1. 0	0	0	両方	□
192.168.1. 0	0	0	両方	□
192.168.1. 0	0	0	両方	□

適用

10件まで登録可能

Application	Port
HTTP	80
FTP	21
TFTP	69
SMTP	25
POP3	110
NNTP	119
Telnet	23
IRC	194
SNMP	161
Finger	79
Gopher	70
Whois	43
rtelnet	107
LDAP	389
UUCP	540

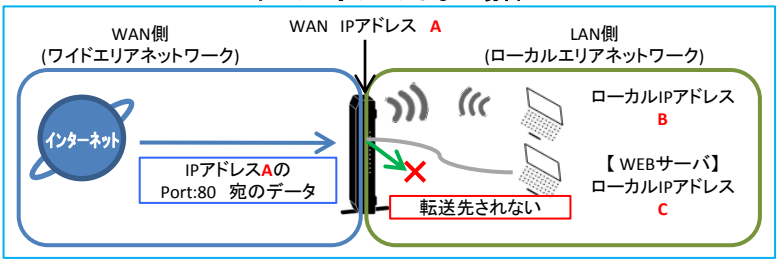
ポートフォワード

IPアドレス	開始ポート	終了ポート	種類	有効
192.168.0. 0	0	0	両方	□

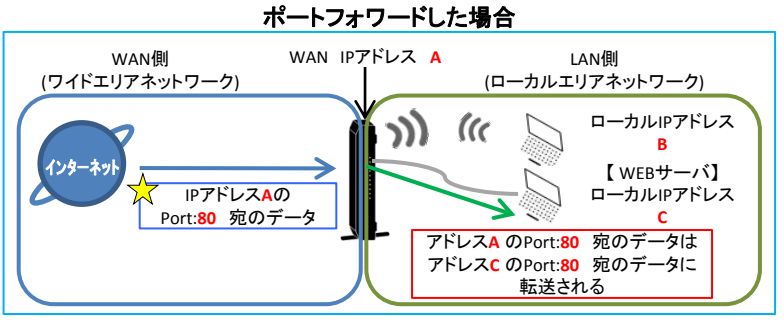
WAN側からの特定ポート番号(WEBサーバーなど)宛のトラフィックをLAN側に転送(フォワード)します。
・転送先のLAN側のIPアドレスを指定します。
・転送する開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。
・トラフィックの種類[TCP] [UDP] [両方]を指定します。
・設定を有効にする場合は、横の有効にチェックを入れます。
最大10件分の範囲を登録できます。

初期値: 無効(転送しない)

ポートフォワードしない場合



ポートフォワードした場合



設定例

転送先 IPアドレス	ポート 先頭番号	ポート 終了番号	種類	有効
(図上では アドレスC) 192.168.0.11	80	80	UDP	(チェック)

適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール

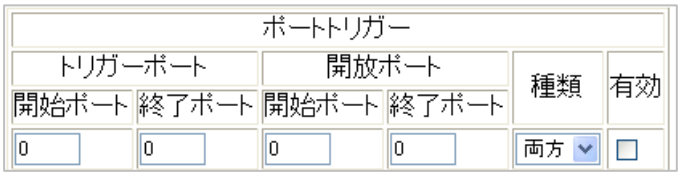
詳細設定

ポートトリガー設定

TV会議、電話、ゲームなど双方向で通信する特殊なアプリケーションを使う場合に、トリガーポート番号に設定されたポート番号に対して、LAN側に接続されている端末からデータを受信すると、開放ポートに設定されたポート番号へのインターネット側(WAN側)からのデータは、全てその端末に送信されます。

ポートトリガー					
トリガーポート		開放ポート		種類	有効
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート		
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□
0	0	0	0	両方	□

適用



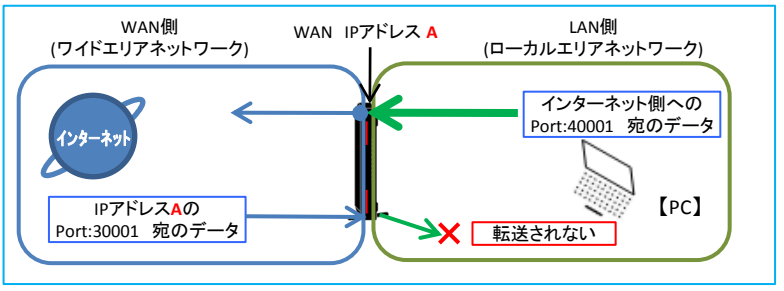
ポートトリガー					
トリガーポート		開放ポート		種類	有効
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート		
0	0	0	0	両方	□

”トリガーポート”で指定したポート番号宛のトラフィックをLAN側から受信すると、
”開放ポート”で指定したポート番号宛のトラフィックをWAN側からLAN側へと開放します。
このWAN側からのトラフィックは、トリガーとなったLAN側の端末へ転送します。

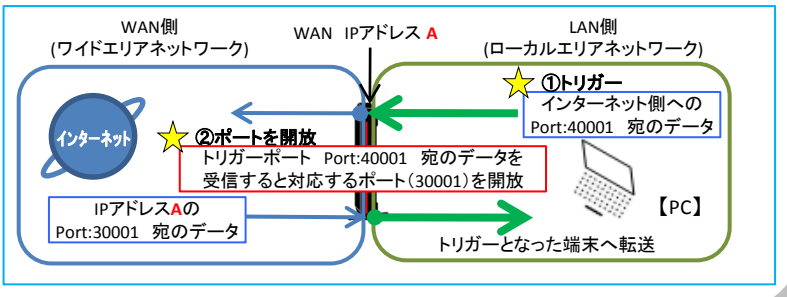
・トリガーポート：LAN側のトリガーとなるポート番号を指定します。
・開放ポート：トリガーを受けた際のWAN側からの開放するポート番号を指定します。
・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
・設定を有効にする場合は、横の有効にチェックを入れます。
最大10件分の範囲を登録できます。

初期値：　無効(開放及び転送しない)

ポートトリガーしない場合



ポートトリガーした場合



設定例

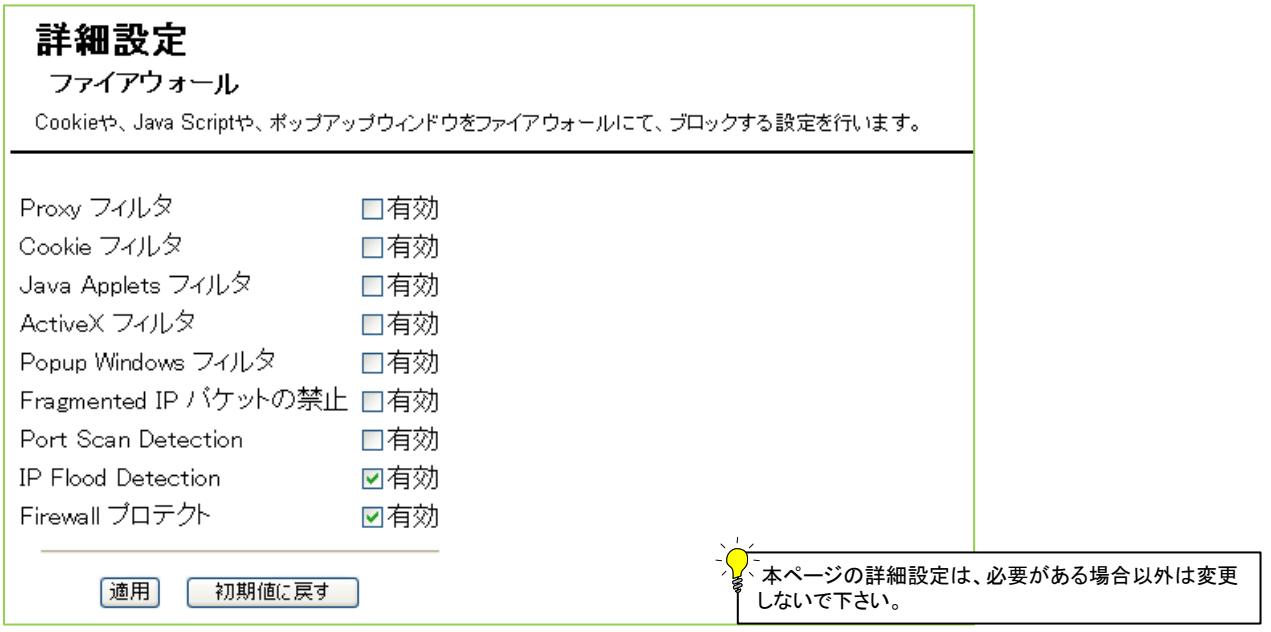
トリガーポート		開放ポート		種類	有効
先頭番号	終了番号	先頭番号	終了番号		
40001	40001	30001	30001	両方	(チェック)

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション | IPアドレスフィルタ | MACアドレスフィルタ | ポートフィルタ | ポートフォワード | ポートトリガー | ファイアウォール



Proxy フィルタ 有効
初期値： 無効（フィルタしない）

有効にすると、プロキシ経由の通信をブロックします。

Cookie フィルタ 有効
初期値： 無効（フィルタしない）

有効にすると、Cookieを受け取らなくなります。
Cookie を使うWEBサイトの中には、ページ訪問回数や地域などの情報をローカルPCに保存し、次回アクセス時に表示したりします。

Java Applets フィルタ 有効
初期値： 無効（フィルタしない）

有効にすると、WEBブラウザでJava Appletを動作させなくします。

ActiveX フィルタ 有効
初期値： 無効（フィルタしない）

有効にすると、WEBブラウザでActive X を動作させなくします。

Popup Windows フィルタ 有効
初期値： 無効（フィルタしない）

有効にすると、ポップアップ（広告ページなどの新規のウィンドウ）が表示されなくなります。
（ポップアップウィンドウの種類により抑制できない場合があります。また、必要なウィンドウまで表示されなくなる場合があります。）

Fragmented IP パケットの禁止 有効
初期値： 無効（Fragmented IPパケットを破棄しない）

有効にすると、分割されたIPパケットを破棄します。

Port Scan Detection 有効
初期値： 無効（Port Scanをブロックしない）

有効にすると、ポートスキャンを検出し、ブロックします。

IP Flood Detection 有効
初期値： 有効（IP Floodをブロックします）

有効にすると、大量のIPパケットが送られた場合に、ブロックします。

Firewall プロテクト 有効
初期値： 有効（Firewall機能を有効にします。）

有効にすると、ファイアウォール機能を有効にします。

適用 初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

無線LAN対応機器情報

パソコンOS	WPS対応	備考
Windows XP	×	OS標準ではWPS非対応*1
Windows Vista	○	OS標準ではWPSのPINコード方式にのみ対応*1
Windows 7	○	OS標準ではWPSのプッシュボタン方式にのみ対応*1
Mac OS X	×	OS標準ではWPS非対応*1

*1 :無線LAN端末のアプリケーション等により、対応する場合があります。

機器名	規格	セキュリティ			WPS対応	備考
		WEP	WPA	WPA2		
Nintendo DS® Nintendo DS Lite®	802.11	○	×	×	×	(2.4GHz帯、最大2Mbps)
Nintendo DSi® Nintendo DSi LL® Nintendo 3DS®	802.11 b/g	○	○	○	○	旧ソフトはWEPのみ対応
Wii®	802.11 b/g	○	○	○	×	有線LANはオプション
PSP® ・PSP-1000 ・PSP-2000 ・PSP-3000 ・PSP-N1000(PSP®go)	802.11 b	○	○ *2	×	×	・WPA(TKIP) ver.2.0以上 ・WPA(AES) ver.2.5以上
PS3® (20Gモデル"CECHBxx"を除く)	802.11 b/g	○	○	○ *2	×	・WPAキー31文字まで ・有線LAN内蔵
XBOX360® ・XBOX360® ・XBOX360®S (XBOX360は無線オプション)	802.11 b/g/n	○	○	○ *2	×	・有線LAN内蔵 ・型番Sから無線LAN内蔵
・iPod touch 第1～3世代 ・IPhone ・IPhone3G ・IPhone3GS	802.11 b/g	○	○	○	×	(日本向け製品)
・iPod touch 第4世代 ・IPhone4	802.11 b/g/n 2.4GHz帯のみ	○	○	○	×	(日本向け製品)
・iPad ・iPad2	802.11 a/b/g/n	○	○	○	×	(日本向け製品)

*2 :最新のファームウェアより対応

記載情報については記載時の情報であり変更されている場合があります。

※Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7およびXbox 360は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※MAC OS X、iPod touch、IPad、iPhone/3G/3GS/4はApple Inc.の登録商標または商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
※NintendoDS/DS Lite/Dsi/DSiLL/3DSおよびWiiは、任天堂の登録商標です。
※PSP/PS3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.

ケーブルテレビ事業者欄

2011年　10月 3日　　初版発行

発行　株式会社ブロードネットマックス

ご契約のサービス内容などについては、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

Copyright © 2011 Broad Net Mux All rights Reserved.